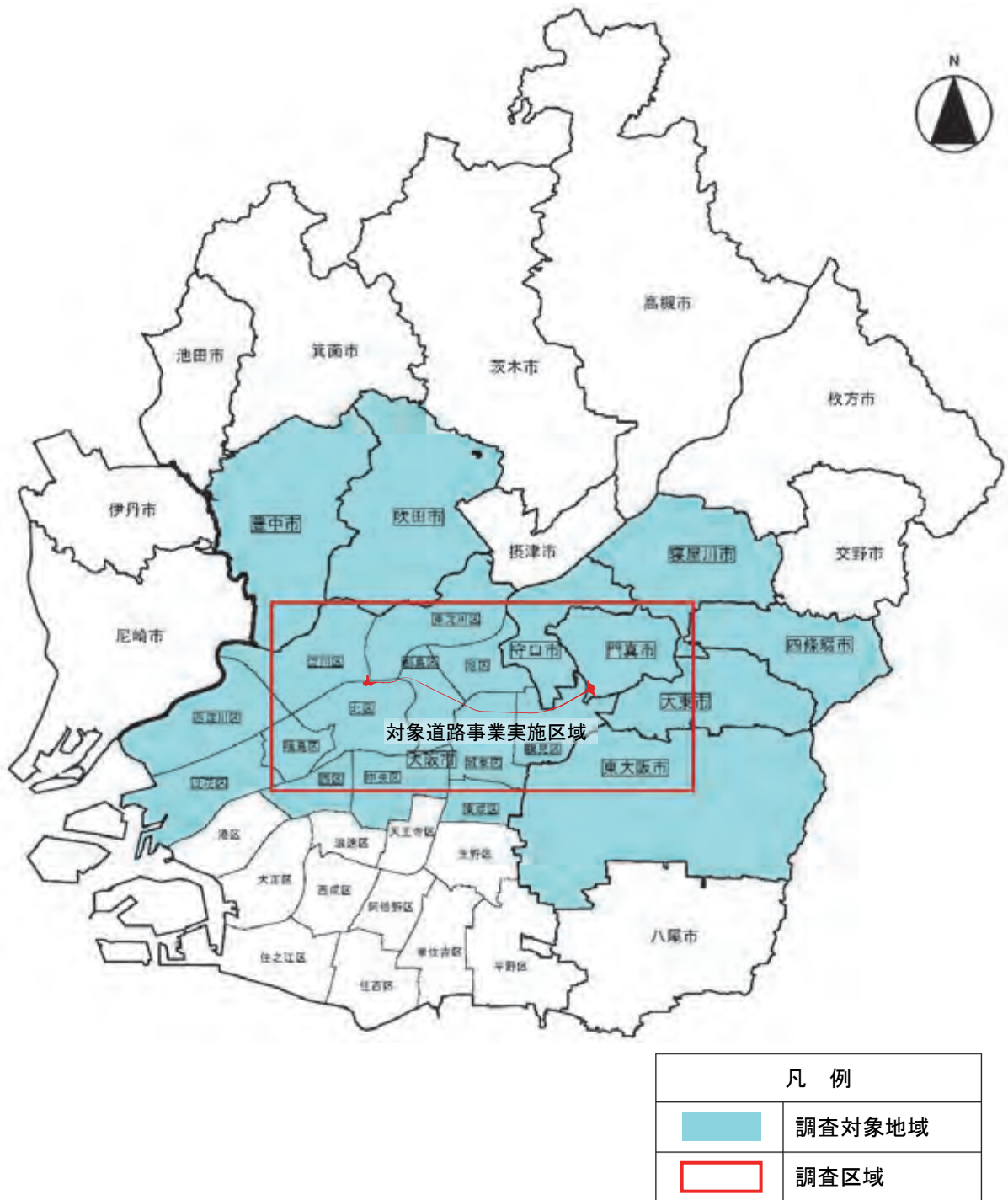


第4章 都市計画対象道路事業実施区域及びその周囲の概況

「調査区域」は対象道路事業実施区域を含む下図に示す範囲とし、「調査対象地域」はその調査区域に属する市及び区とします。

原則として、対象道路事業に係る地域特性の把握は「調査区域」で行い、統計等の行政単位による文献調査の場合は「調査対象地域」で行いました。



第1節 自然的状況

対象道路事業実施区域及びその周囲の自然的状況を既存文献等によりとりまとめました。調査結果の概要は次表に示すとおりです。

項目	対象道路事業実施区域及びその周囲の概況
気象の状況	大阪管区気象台における平成22年から平成26年の5ヶ年の平均気温は16.9℃、最高気温は38.4℃、最低気温は-2.9℃です。また平均年間降水量は1479.7mm、平均風速は2.5m/sです。 調査区域の大阪管区気象台及び大気汚染常時監視測定局における平成25年度の風速の年平均値は1.3m/s～2.6m/sです。
大気質の状況	調査区域の大気汚染常時監視測定局（一般環境大気測定局12局、自動車排出ガス測定局6局）における平成25年度の測定結果は、二酸化窒素（NO ₂ ）、二酸化硫黄（SO ₂ ）、一酸化炭素（CO）は測定されたすべての測定局で環境基準を達成しています。浮遊粒子状物質（SPM）は17局中1局で短期的評価が環境基準を達成していません。微小粒子状物質（PM _{2.5} ）は測定された7局で環境基準を超過しています。
騒音の状況	調査区域において調査された道路交通騒音は、58地点のうち、昼間は45地点、夜間は35地点で環境基準を達成しています。また、要請限度を超過している地点は、昼間は存在せず、夜間は3地点です。 また、一般環境騒音の測定結果では、環境基準を達成している測定地点は、32地点のうち昼間27地点、夜間25地点となっています。
振動の状況	調査区域において調査された平成24年度の道路交通振動は、29地点のすべての地点で要請限度を下回っています。
水象の状況	調査区域には、淀川水系の淀川水域、神崎川水域、寝屋川水域及び大阪市内河川水域の河川があります。このうち、対象道路事業実施区域は、古川、城北川及び大川と交差するほか、淀川の一部にかかります。
水質の状況	調査区域において調査された平成25年度の水質測定結果によると、18地点のうち、生活環境項目ではpH及びDOについては2地点で、大腸菌群数については5地点で環境基準を超過しています。なお、pH、BOD及びSSについては、全地点で環境基準を達成しています。健康項目では、すべての地点で環境基準を達成しています。 調査区域において調査された平成25年度の地下水調査結果によると、26地点のうち、11地点で環境基準を超過しています。 また、平成25年度のダイオキシン類調査結果によると、河川は20地点のうち18地点で環境基準を達成しています。さらに地下水は1地点で調査が行われ環境基準を達成しています。
水底の底質の状況	調査区域において調査された平成25年度の水底の底質調査結果によると、4地点すべてにおいて、底質の暫定除去基準を上回る水銀、PCBは検出されていません。また、ダイオキシン類は平成25年度は18地点で調査が行われており、17地点で環境基準を達成しています。
土壌の状況	調査区域は、市街化が進み、淀川河川敷に砂州未熟土壌が分布しており、東側の一部に細粒グライ土壌と灰色低地土壌が分布しています。このうち対象道路事業実施区域には、東端に細粒グライ土壌と灰色低地土壌の地域が存在しています。 調査区域において調査された土壌のダイオキシン類調査結果によると、平成21年度から平成25年度にかけて調査された38地点すべてにおいて環境基準を達成しています。
地盤の状況	調査区域では、20地点で地盤沈下の観測が行われており、大阪市観測の過去5年間、大阪府観測の過去10年間の地盤沈下量については、大きな隆起や沈降が見られず、概ね安定した状態にあります。
地形の状況	調査区域の大部分は、淀川水系により形成された三角州であり、大阪城の周辺に分布する丘陵地と砂礫台地からなる上町台地により、西大阪平野と東大阪平野に分けられます。

項目	対象道路事業実施区域及びその周囲の概況
地質の状況	調査区域の大部分は沖積層の砂と泥（未固結堆積物）からなり、地下には大阪層群が分布しています。また、調査区域には、活断層として上町断層帯が分布しています。
学術上又は希少性の観点から重要な地形及び地質の分布の状況	調査区域には、学術上又は希少性の観点から重要な地形及び地質は分布していません。
動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況	調査区域は、全体的に市街地のような人工的な環境が大部分を占めることを反映し、動物ではスズメ、ヒヨドリ、ハシブトガラスなどが生息し、植物ではクスノキ、ナンキンハゼなどの植栽樹や、アメリカセンダングサ、セイヨウタンポポなどの外来植物が生育しています。 また、淀川では、ヨシ、セイタカヨシ、オギなどの河川に特徴的な植物が生育しており、カルガモやバンなどの鳥類、クロイトトンボ、ヒヌマイトトンボなどの昆虫類等が生息し、ワンドはギンブナ、モツゴ、スジエビ、ミナミヌマエビなどの魚介類の生息場所になっています。
動物の重要な種及び注目すべき生息地の状況	調査区域においては、重要種として、哺乳類ではハタネズミ及びカヤネズミ 2 種、鳥類ではトモエガモ、コアジサシなどの 54 種、両生類ではナゴヤダルマガエル 1 種、魚類ではヤリタナゴ等 25 種、昆虫類ではヒヌマイトトンボ、エサキアメンボ等の 32 種、クモ類ではワスレナグモ 1 種、底生動物ではタガメ等 46 種が確認されています。なお、爬虫類、陸産貝類については重要種は確認されていません。 また、注目すべき生息地として法令などに指定されたものは存在しませんが、コアジサシの集団繁殖地、淀川のワンド群等が確認されています。
植物の重要な種及び植物群落の状況	調査区域においては、重要種として、維管束植物ではドクゼリ、ワンドスゲ等 18 種、藻類ではホソアヤギヌ 1 種が確認されています。 また、「薫蓋クス」など「文化財保護法」等に基づく天然記念物が 8 箇所、「レッドデータブック近畿 2001」の掲載群落が 11 群落あり、上記以外に「第 4 回自然環境保全基礎調査 自然環境情報図 大阪府」に示されている巨樹・巨木林が 2 箇所存在しています。
植生の状況	調査区域は、大半が市街地で植生のない範囲が広がっています。市街地の中で樹林が見られるのは、クスノキ、サクラ類などの植栽樹によって構成される大阪城公園、鶴見緑地、旧淀川（大川）沿いなどです。 また、淀川の河川敷やワンド沿いにヨシクラス、オギ群集などの水辺植生が分布するほか、門真市や東大阪市では、水田雑草群落が市街地や工場地帯の中にパッチ状に分布しています。
生態系の状況	調査区域の自然環境類型区分としては、低地の大半は「低地：市街地」に類型化され、小面積ながら、公園や緑地などの「低地：樹林地」も分布しています。また、淀川には河川敷のヨシクラス、オギ群集などに代表される「河川：草地」、ヤナギ林などの「河川：樹林地」、ワンドを含む「河川：開放水域」などが分布しています。 調査区域の生態系は「都市緑地の生態系」と「河川・水辺の生態系」に区分されます。
景観の状況	調査区域には大阪城天守閣等の展望施設、花博記念公園鶴見緑地等の野外レクリエーション地をはじめとする 90 箇所の眺望点があります。 景観資源としては、調査区域に今米特別緑地保全地区、大川風致地区が存在します。また、眺望点から眺望される可能性がある金剛生駒紀泉国定公園、瀬戸内海国立公園（六甲地域）などの景観資源が存在します。
人と自然との触れ合いの活動の状況	調査区域には淀川河川公園、花博記念公園鶴見緑地、歴史の散歩道（大阪市史跡連絡遊歩道）など 39 箇所の人と自然との触れ合いの活動の場があります。
一般環境中の放射性物質の状況	調査区域では 3 地点で一般環境中の放射性物質の測定が行われており、大気浮遊じん中で検出されず、雨水・ちり中で 0.044 MBq/km ² ・月（ストロンチウム-90）、土壌中で 0.27～0.52 Bq/kg（ストロンチウム-90）、1.3～3.0 Bq/kg（セシウム-137）、水道水などで 1.3～1.4 mBq/L（ストロンチウム-90）です。

1.1 気象、大気質、騒音、振動その他の大気に係る環境の状況

1) 気象の状況

調査区域の気候は瀬戸内海式気候であり、大阪管区気象台における気象の概況は、図 4-1-1 及び表 4-1-1 に示すとおりです。気象台の位置は、図 4-1-2 に示すとおりです。

大阪管区気象台における平成 22 年から平成 26 年の 5 ヶ年の平均気温は 16.9℃、最高気温は 38.4℃、最低気温は -2.9℃です。また平均年間降水量は 1479.7mm、平均風速は 2.5m/s です。

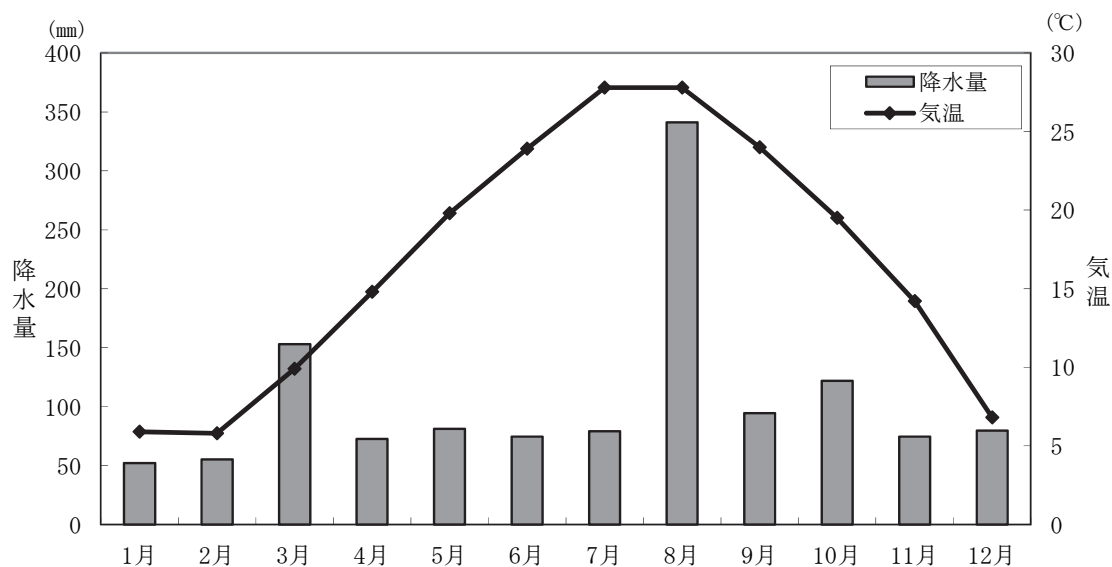


図 4-1-1 気象の概況（平成 26 年）

表 4-1-1 過去 5 年間の気象概況

項目 年次	気温 (°C)			平均湿度 (%)	降水量 (mm)	日最深積雪 (cm)	平均風速 (m/s)	最多 風向
	平均	最高値	最低値					
平成 22 年	17.3	37.4	-1.3	62	1568.0	—	2.5	西)
平成 23 年	16.9	36.2	-2.7	63	1614.0	5	2.5	西)
平成 24 年	16.6	36.7	-2.9	63	1520.0	—	2.5	北東)
平成 25 年	17.1	38.4	-1.1	60	1418.0	0	2.5	西)
平成 26 年	16.7	37.1	-0.5	64	1278.5	4	2.5	北東)
平均	16.9	—	—	63	1479.7	—	2.5	—

注1) 項目は以下のとおりです。

気温 : 平均気温は、月平均気温の年平均値、最高(低)気温は、観測年における最高(低)値

風速 : 平均風速は、月平均値の年間平均値

降水量 : 降水量の年合計

注2) 5年間の平均は各年平均値(降水量は年間降水量)の平均値

注3) 「」は準正常値(観測結果にやや疑問があるか、または統計を行う対象資料が許容範囲内で欠けている場合の値をいう)

出典: 気象庁ホームページ

また、調査区域内の気象官署及び大気汚染常時監視測定局における平成25年の風向・風速の年間調査結果は表4-1-2に示すとおりです。調査地点は図4-1-2に示すとおりです。

風向は、大阪管区気象台及び守口保健所局が西、千成局が西北西、野中小学校局／旧淀川区役所局及び聖賢小学校局が西南西、大宮中学校局、第三測定局（錦）局及び門真市南局が北北東、国設大阪局及び門真市役所局が北、大東市役所局が北北西の風が卓越しています。また、風速の年平均値は1.3m/s～2.6m/sです。

表4-1-2 調査区域における風向・風速年間調査結果（平成25年）

区分	番号	調査地点	最多風向	年平均値(m/s)
気象官署	A	大阪管区気象台	西	2.5
大気汚染常時監視測定局	1	千成	西北西	1.5
	2	野中小学校／旧淀川区役所	西南西	2.0
	4	大宮中学校	北北東	2.2
	5	聖賢小学校	西南西	2.2
	6	国設大阪	北	2.0
	7	守口保健所	西	1.9
	8	門真市役所	北	2.1
	9	第三測定局（錦）	北北東	1.8
	10	門真市南	北北東	1.3
	12	大東市役所	北北西	2.6

注1) 表中の番号は図4-1-2に対応しています。

注2) 番号2の野中小学校は平成25年4月から、旧淀川区役所は平成25年3月まで設置。

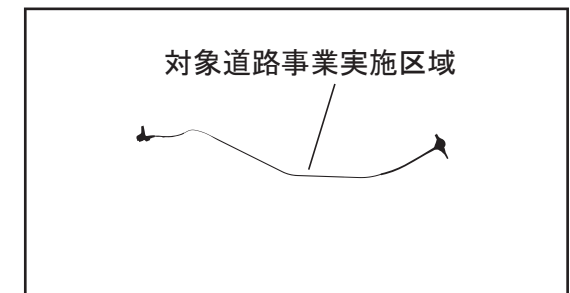
出典：気象庁ホームページ

大阪府 大気汚染常時監視測定データ（大阪府環境農林水産部ホームページ）



凡 例		
記号	番号	名 称
■	A	大阪管区气象台
●	1~12	一般環境大気測定局
▲	13~18	自動車排出ガス測定局

注1) 測定局名は表4-1-2及び表4-1-3参照。
 注2) 図中番号の2(H25.4以降)は野中小学校、2(H25.3迄)は旧淀川区役所を示します。
 出典：気象庁ホームページ
 大阪府 大気汚染常時監視測定データ（大阪府環境農林水産部ホームページ）



図名

図4-1-2 大気質調査地点等位置図

2) 大気質の状況

調査区域における大気質の測定は、前掲の図 4-1-2 に示すとおり、一般環境大気測定局（以下、「一般局」といいます。）12 局、自動車排出ガス測定局（以下、「自排局」といいます。）6 局で実施されています。

各測定局の平成 25 年度測定結果は表 4-1-3(1)～(5)に、過去 5 年間の測定結果の推移は図 4-1-3(1)～(10)に示すとおりです。

(1) 二酸化窒素

平成 25 年度の一般局については、12 局のうち 11 局で測定されており、すべての測定局で環境基準を達成しています。過去 5 年間の年平均値及び日平均値の年間 98% 値の推移は、概ね横ばい傾向を示しています。

平成 25 年度の自排局については、すべての測定局で環境基準を達成しています。過去 5 年間の年平均値及び日平均値の年間 98% 値の推移は、概ね横ばい傾向を示しています。

(2) 浮遊粒子状物質

平成 25 年度の一般局については、12 局で測定されており、長期的評価はすべての測定局で環境基準を達成しています。短期的評価は、1 局で環境基準を達成していません。過去 5 年間の年平均値及び日平均値の 2% 除外値の推移は、概ね横ばい傾向を示しています。

平成 25 年度の自排局については、6 局のうち 5 局で測定されており、長期的評価・短期的評価ともにすべての測定局で環境基準を達成しています。過去 5 年間の年平均値及び日平均値の 2% 除外値の推移は、概ね横ばい傾向を示しています。

(3) 二酸化硫黄

平成 25 年度の一般局については、12 局のうち 9 局で測定されており、長期的評価・短期的評価ともにすべての測定局で環境基準を達成しています。過去 5 年間の年平均値及び日平均値の 2% 除外値の推移は、概ね横ばい傾向を示しています。

平成 25 年度の自排局については、6 局のうち 1 局で測定されており、長期的評価・短期的評価ともにすべての測定局で環境基準を達成しています。過去 5 年間の年平均値及び日平均値の 2% 除外値の推移は、概ね横ばい傾向を示しています。

(4) 一酸化炭素

平成 25 年度の一般局については、12 局のうち 3 局で測定されており、長期的評価・短期的評価ともにすべての測定局で環境基準を達成しています。過去 5 年間の年平均値及び日平均値の 2% 除外値の推移は、概ね横ばい傾向を示しています。

平成 25 年度の自排局については、6 局のうち 1 局で測定されており、長期的評価・短期的評価ともにすべての測定局で環境基準を達成しています。過去 5 年間の年平均値及び日平均値の 2% 除外値の推移は、概ね横ばい傾向を示しています。

(5) 微小粒子状物質

平成 25 年度の一般局については、12 局のうち 6 局で測定されており、長期的評価はすべての測定局で環境基準を達成していません（うち 1 局は評価対象外）。過去 1～5 年間の年平均値及び日平均値の年間 98% 値の推移は、概ね横ばい傾向を示しています。

平成 25 年度の自排局については、6 局のうち 2 局で測定されており、長期的評価はすべての測定局で環境基準を達成していません。過去 3 年間の年平均値及び日平均値の年間 98% 値の推移は、概ね横ばい傾向を示しています。

表 4-1-3(1) 平成 25 年度大気質測定結果(二酸化窒素)

区分	番号	測定局名	市区名	二酸化窒素 NO ₂		
				年平均値 (ppm)	日平均値 の年間 98%値 (ppm)	環境基準 達成状況
一般環境 大気測定局	1	千成	豊中市	0.017	0.037	○
	2	野中小学校	大阪市淀川区	0.018	0.039	○
	3	菅北小学校	大阪市北区	0.020	0.043	○
	4	大宮中学校	大阪市旭区	0.019	0.041	○
	5	聖賢小学校	大阪市城東区	0.018	0.040	○
	6	国設大阪	大阪市東成区	0.021	0.046	○
	7	守口保健所	守口市	0.017	0.038	○
	8	門真市役所	門真市	0.017	0.040	○
	9	第三測定局(錦)	守口市	0.017	0.041	○
	10	門真市南	門真市	0.017	0.037	○
	11	茨田北小学校	大阪市鶴見区	—	—	—
	12	大東市役所	大東市	0.013	0.030	○
自動車 排出ガス 測定局	13	海老江西小学校	大阪市福島区	0.025	0.049	○
	14	梅田新道	大阪市北区	0.027	0.048	○
	15	上新庄交差点	大阪市東淀川区	0.025	0.046	○
	16	淀川工科高校	守口市	0.025	0.047	○
	17	新森小路小学校	大阪市旭区	0.027	0.050	○
	18	茨田中学校	大阪市鶴見区	0.027	0.048	○
環境基準				1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。		

注1) 環境基準達成の評価は次のとおりです。

長期的評価：1年間の測定を通じて得られた1日平均値のうち、低い方から98%にあたる値(日平均値の年間98%値)を環境基準と比較して評価します。

○：環境基準を達成 ×：環境基準を非達成 —：評価対象外

注2) 「-」は、当該物質が測定されていないことを示します。

出典：平成25年度大気汚染常時測定局測定結果(平成26年9月、大阪府)

表 4-1-3(2) 平成 25 年度大気質測定結果(浮遊粒子状物質)

区分	番号	測定局名	浮遊粒子状物質 SPM								
			年平均値 (mg/m ³)	長期的評価			短期的評価				
				日平均値が 0.10mg/m ³ を超えた日 が2日以上 連続したこ との有無	日平均値 の2%除 外値 (mg/m ³)	環境 基準 達成 状況	1時間値が 0.20mg/m ³ を超 えた時間数とそ の割合		日平均値が 0.10mg/m ³ を超 えた日数とその 割合		環境 基準 達成 状況
(時間)	(%)	(日)	(%)								
一般環境大気測定局	1	千成	0.034	無	0.072	○	0	0.0	0	0.0	○
	2	野中小学校	0.020	無	0.058	○	0	0.0	0	0.0	○
	3	菅北小学校	0.024	無	0.059	○	0	0.0	0	0.0	○
	4	大宮中学校	0.022	無	0.063	○	0	0.0	0	0.0	○
	5	聖賢小学校	0.019	無	0.055	○	0	0.0	0	0.0	○
	6	国設大阪	0.022	無	0.054	○	0	0.0	0	0.0	○
	7	守口保健所	0.020	無	0.059	○	0	0.0	0	0.0	○
	8	門真市役所	0.020	無	0.049	○	0	0.0	0	0.0	○
	9	第三測定局(錦)	0.022	無	0.059	○	0	0.0	0	0.0	○
	10	門真市南	0.021	無	0.059	○	0	0.0	0	0.0	○
	11	茨田北小学校	0.028	無	0.069	○	0	0.0	0	0.0	○
	12	大東市役所	0.023	無	0.059	○	0	0.0	0	0.0	○
自動車排出ガス測定局	13	海老江西小学校	0.024	無	0.065	○	1	0.0	0	0.0	×
	14	梅田新道	0.026	無	0.065	○	0	0.0	0	0.0	○
	15	上新庄交差点	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	16	淀川工科高校	0.020	無	0.051	○	0	0.0	0	0.0	○
	17	新森小路小学校	0.026	無	0.056	○	0	0.0	0	0.0	○
	18	茨田中学校	0.021	無	0.059	○	0	0.0	0	0.0	○
環境基準			1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。								

注1) 環境基準達成の評価は次のとおりです。

ア、長期的評価：1年間の測定を通じて得られた1日平均値のうち、高い方から数えて2%の範囲にある測定値を除外した後の最高値(日平均値の2%除外値)を環境基準と比較して評価します。ただし、環境基準を超える日が2日以上連続した場合には非達成とします。

イ、短期的評価：測定を行った日についての1時間値の1日平均値若しくは各1時間値を環境基準と比較して評価します。

○：環境基準を達成 ×：環境基準を非達成 —：評価対象外

注2) 「-」は、当該物質が測定されていないことを示します。

出典：平成25年度大気汚染常時測定局測定結果(平成26年9月、大阪府)

表 4-1-3 (3) 平成 25 年度大気質測定結果(二酸化硫黄)

区分	番号	測定局名	二酸化硫黄 SO ₂								
			年平均値 (ppm)	長期的評価			短期的評価				
				日平均値が 0.04ppm を超えた日が 2 日以上連続したことの有無	日平均値の 2% 除外値 (ppm)	環境基準達成状況	1 時間値が 0.1ppm を超えた時間数とその割合		日平均値が 0.04ppm を超えた日数とその割合		環境基準達成状況
					(時間)	(%)	(日)	(%)			
一般環境大気測定局	1	千成	0.004	無	0.009	○	0	0.0	0	0.0	○
	2	野中小学校	0.004	無	0.008	○	0	0.0	0	0.0	○
	3	菅北小学校	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	大宮中学校	0.004	無	0.008	○	0	0.0	0	0.0	○
	5	聖賢小学校	0.004	無	0.009	○	0	0.0	0	0.0	○
	6	国設大阪	0.002	無	0.005	○	0	0.0	0	0.0	○
	7	守口保健所	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8	門真市役所	0.005	無	0.009	○	0	0.0	0	0.0	○
	9	第三測定局(錦)	0.004	無	0.008	○	0	0.0	0	0.0	○
	10	門真市南	0.006	無	0.010	○	0	0.0	0	0.0	○
	11	茨田北小学校	0.005	無	0.010	○	0	0.0	0	0.0	○
	12	大東市役所	—	—	—	—	—	—	—	—	—
自動車排出ガス測定局	13	海老江西小学校	0.004	無	0.010	○	0	0.0	0	0.0	○
	14	梅田新道	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	15	上新庄交差点	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	16	淀川工科高校	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	17	新森小路小学校	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	18	茨田中学校	—	—	—	—	—	—	—	—	—
環境基準			1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、1 時間値が 0.1ppm 以下であること。								

注1) 環境基準達成の評価は次のとおりです。

ア、長期的評価：1年間の測定を通じて得られた1日平均値のうち、高い方から数えて2%の範囲にある測定値を除外した後の最高値（日平均値の2%除外値）を環境基準と比較して評価します。ただし、環境基準を超える日が2日以上連続した場合には非達成とします。

イ、短期的評価：測定を行った日についての1時間値の1日平均値若しくは各1時間値を環境基準と比較して評価します。

○：環境基準を達成 ×：環境基準を非達成 —：評価対象外

注2) 「-」は、当該物質が測定されていないことを示します。

出典：平成25年度大気汚染常時測定局測定結果（平成26年9月、大阪府）

表 4-1-3(4) 平成 25 年度大気質測定結果(一酸化炭素)

区分	番号	測定局名	一酸化炭素 CO								
			年平均値 (ppm)	長期的評価			短期的評価				環境基準 達成 状況
				日平均値 が 10ppm を超えた 日が 2 日 以上連続 したこと の有無	日平均値 の 2% 除外値 (ppm)	環境 基準 達成 状況	8 時間平均値が 20ppm を超えた 回数とその割合		日平均値が 10ppm を超えた 日数とその割合		
(回)	(%)	(日)	(%)								
一般環境 大気測定局	1	千成	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	野中小学校	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	菅北小学校	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	大宮中学校	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5	聖賢小学校	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6	国設大阪	0.3	無	0.7	○	0	0.0	0	0.0	○
	7	守口保健所	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8	門真市役所	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	9	第三測定局(錦)	0.3	無	0.5	○	0	0.0	0	0.0	○
	10	門真市南	0.4	無	0.7	○	0	0.0	0	0.0	○
	11	茨田北小学校	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12	大東市役所	—	—	—	—	—	—	—	—	—
自動車 排出ガス 測定局	13	海老江西小学校	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	14	梅田新道	0.5	無	0.9	○	0	0.0	0	0.0	○
	15	上新庄交差点	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	16	淀川工科高校	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	17	新森小路小学校	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	18	茨田中学校	—	—	—	—	—	—	—	—	—
環境基準			1 時間値の 1 日平均値が 10ppm 以下であり、かつ、1 時間値の 8 時間平均値が 20ppm 以下であること。								

注1) 環境基準達成の評価は次のとおりです。

ア、長期的評価：1年間の測定を通じて得られた1日平均値のうち、高い方から数えて2%の範囲にある測定値を除外した後の最高値(日平均値の2%除外値)を環境基準と比較して評価します。ただし、環境基準を超える日が2日以上連続した場合には非達成とします。

イ、短期的評価：測定を行った日についての1時間値の1日平均値若しくは8時間平均値を環境基準と比較して評価します。

○：環境基準を達成 ×：環境基準を非達成 —：評価対象外

注2) 「-」は、当該物質が測定されていないことを示します。

出典：平成25年度大気汚染常時測定局測定結果(平成26年9月、大阪府)

表 4-1-3(5) 平成 25 年度大気質測定結果(微小粒子状物質)

区分	番号	測定局名	微小粒子状物質 PM2.5				
			年平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	長期 基準 達成 状況	日平均値の 年間 98%値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	短期 基準 達成 状況	環境基準 達成状況
一般環境 大気測定局	1	千成	16.3	×	39.8	×	×
	2	野中小学校	16.2	×	39.0	×	×
	3	菅北小学校	15.6	×	39.9	×	×
	4	大宮中学校	—	—	—	—	—
	5	聖賢小学校	17.9	×	43.1	×	×
	6	国設大阪	19.2	—	46.1	—	—
	7	守口保健所	—	—	—	—	—
	8	門真市役所	—	—	—	—	—
	9	第三測定局(錦)	—	—	—	—	—
	10	門真市南	—	—	—	—	—
	11	茨田北小学校	—	—	—	—	—
	12	大東市役所	14.8	○	36.8	×	×
自動車 排出ガス 測定局	13	海老江西小学校	—	—	—	—	—
	14	梅田新道	—	—	—	—	—
	15	上新庄交差点	—	—	—	—	—
	16	淀川工科高校	16.8	×	41.0	×	×
	17	新森小路小学校	19.7	×	47.1	×	×
	18	茨田中学校	—	—	—	—	—
環境基準			1年平均値が $15\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下(長期基準)であり、かつ、1時間値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下(短期基準)であること。				

注1) 環境基準達成の評価は次のとおりです。

長期的評価：1日平均値については、年間の1日平均値のうち低い方から98%に相当する値を環境基準(1日平均値)と比較して評価を行う。1年平均値(長期基準)及び1日平均値(短期基準)の両方を達成した場合に、環境基準を達成したものとする。

○：環境基準を達成 ×：環境基準を非達成 —：評価対象外

注2) 「-」は、当該物質が測定されていないことを示します。

注3) 6：国設大阪局は測定方法が環境省の認定基準を満たさず参考値として掲載しています。

出典：平成25年度大気汚染常時測定局測定結果(平成26年9月、大阪府)

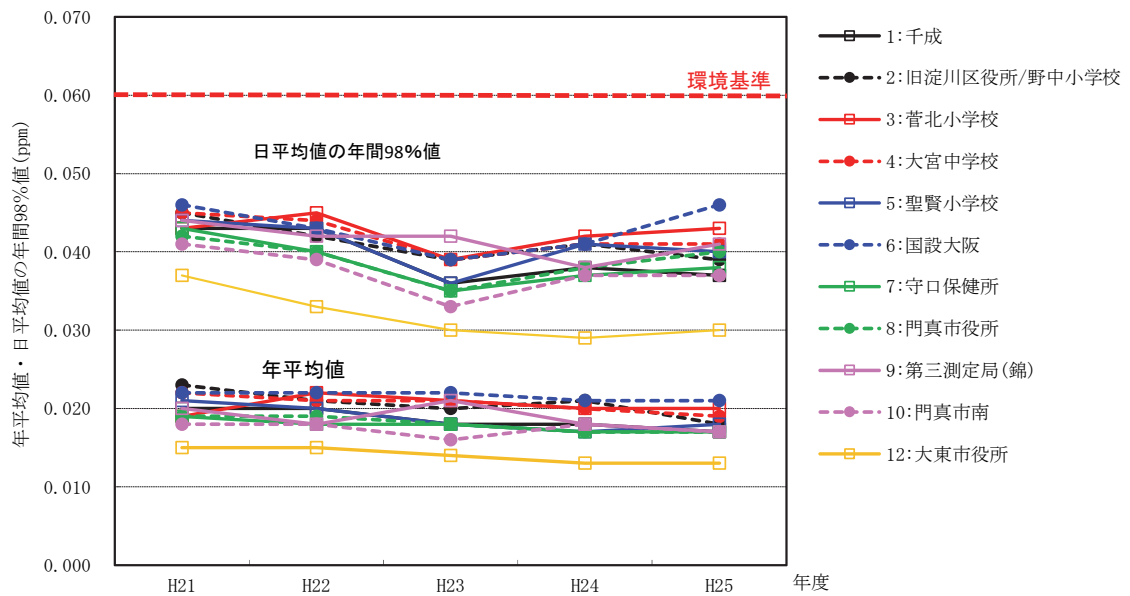


図 4-1-3(1) 二酸化窒素濃度の経年変化（一般局）

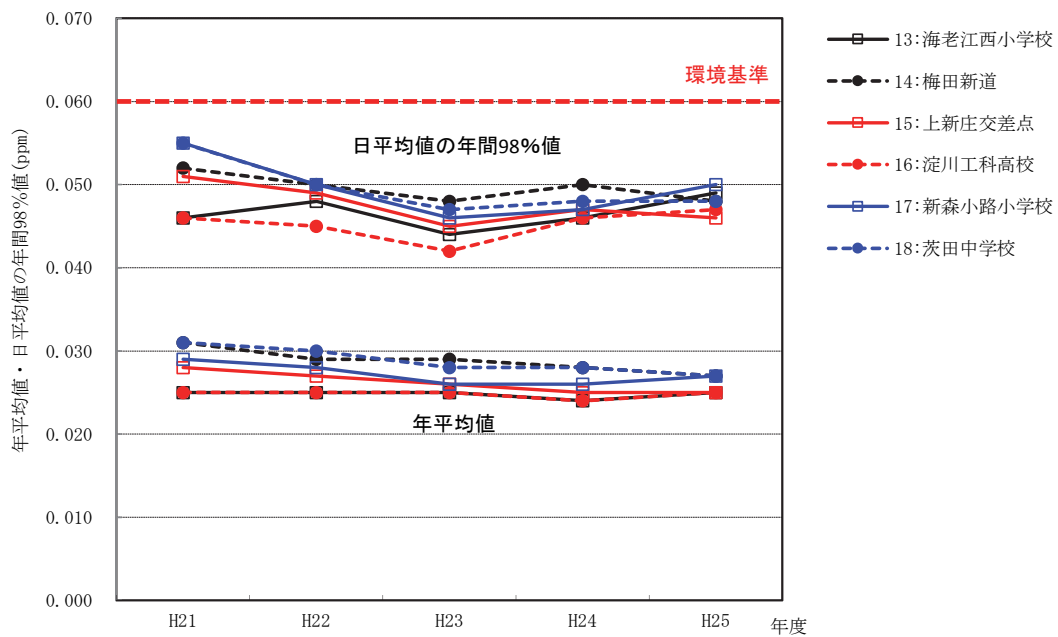


図 4-1-3(2) 二酸化窒素濃度の経年変化（自排局）

出典：平成25年度大気汚染常時測定局測定結果（平成26年9月、大阪府）

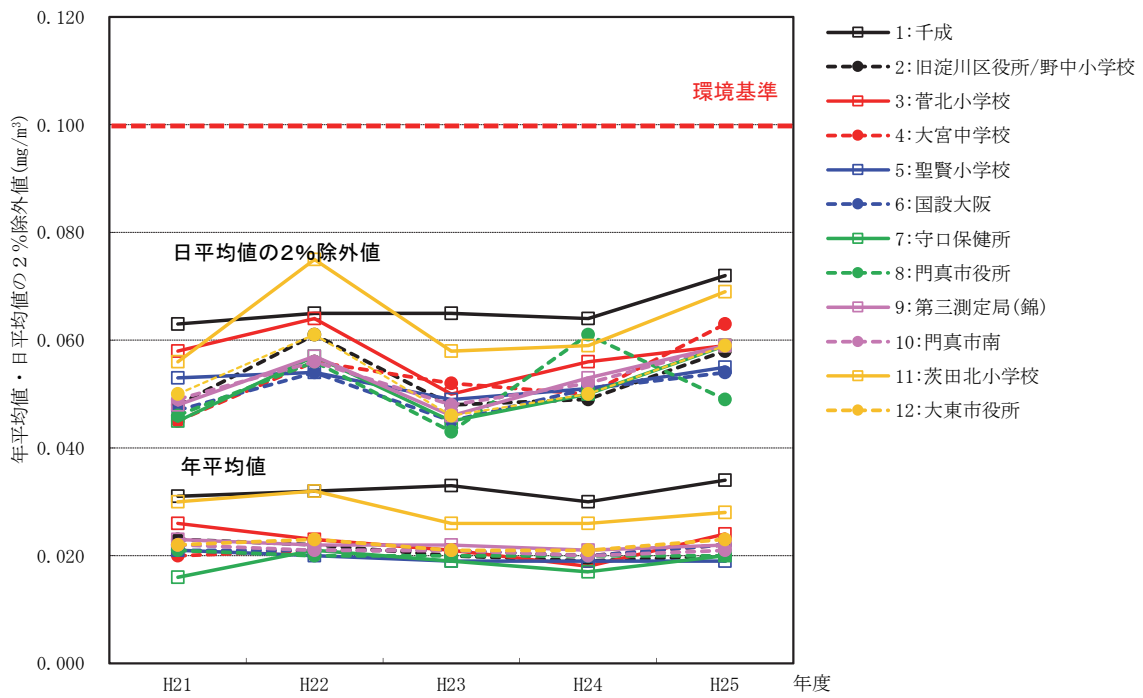


図 4-1-3 (3) 浮遊粒子状物質濃度の経年変化 (一般局)

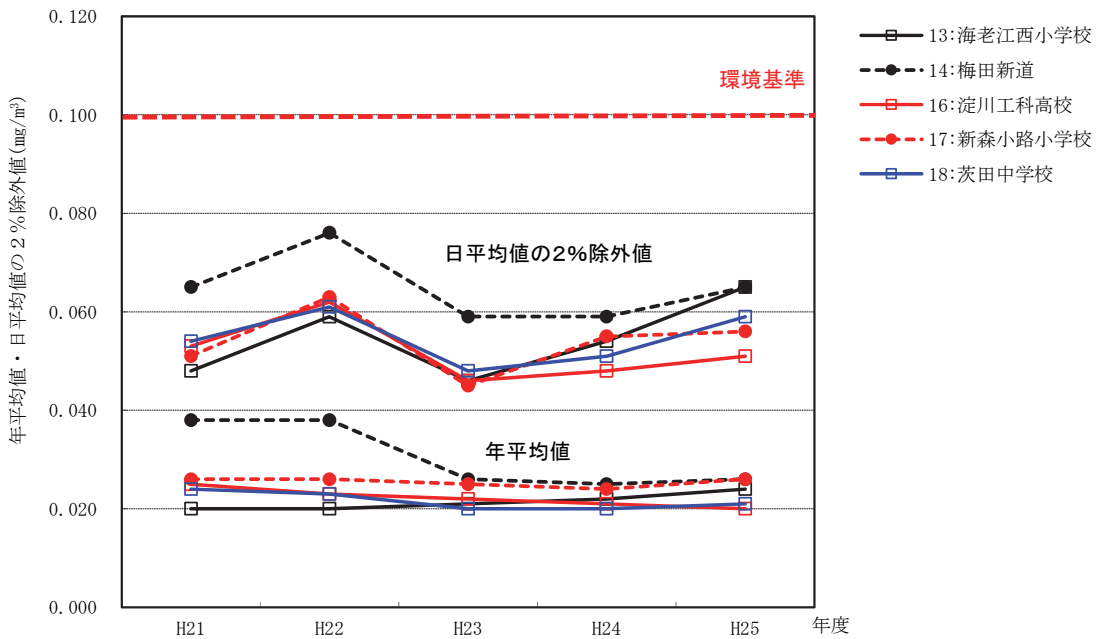


図 4-1-3 (4) 浮遊粒子状物質濃度の経年変化 (自排局)

出典：平成25年度大気汚染常時測定局測定結果 (平成26年9月、大阪府)

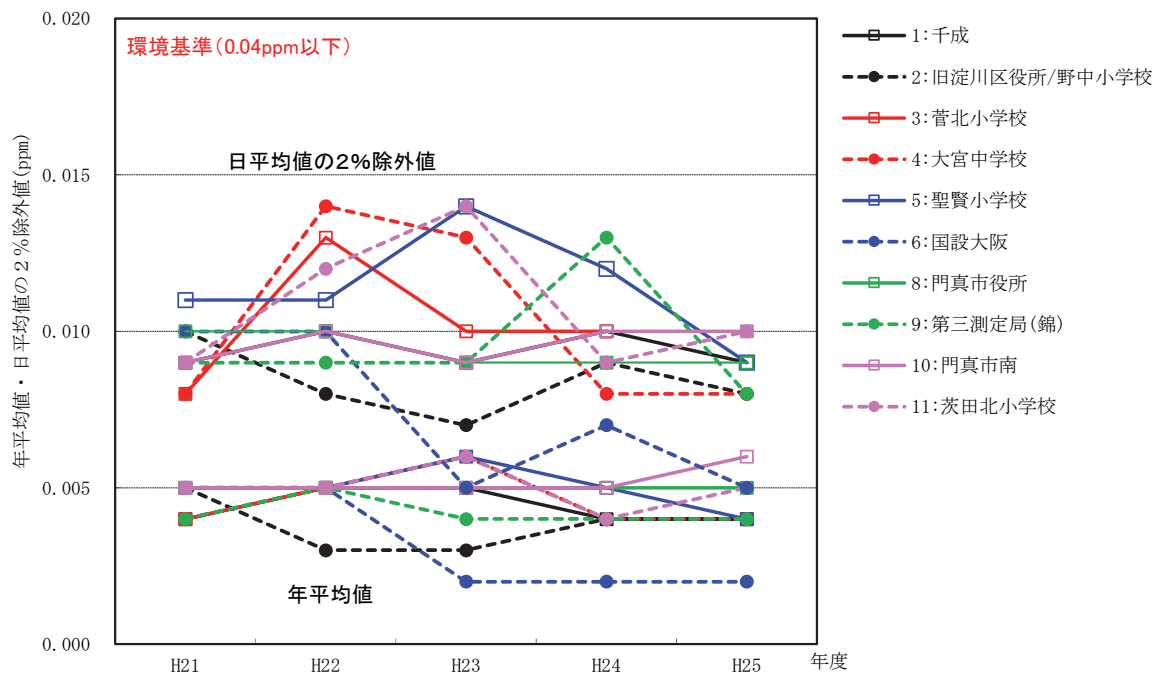


図 4-1-3(5) 二酸化硫黄濃度の経年変化 (一般局)

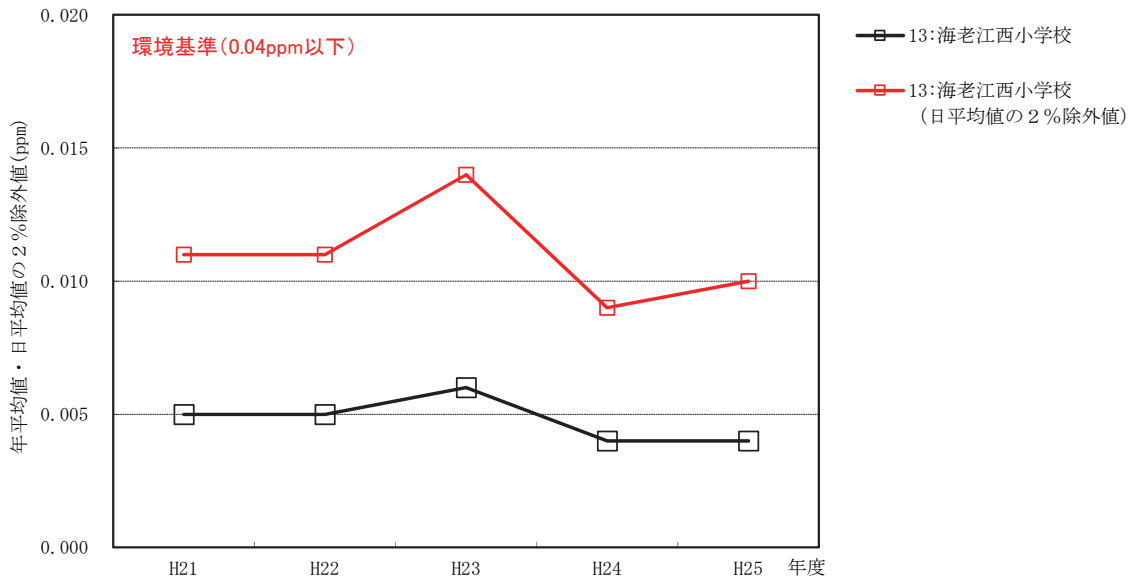


図 4-1-3(6) 二酸化硫黄濃度の経年変化 (自排局)

出典：平成25年度大気汚染常時測定局測定結果 (平成26年9月、大阪府)

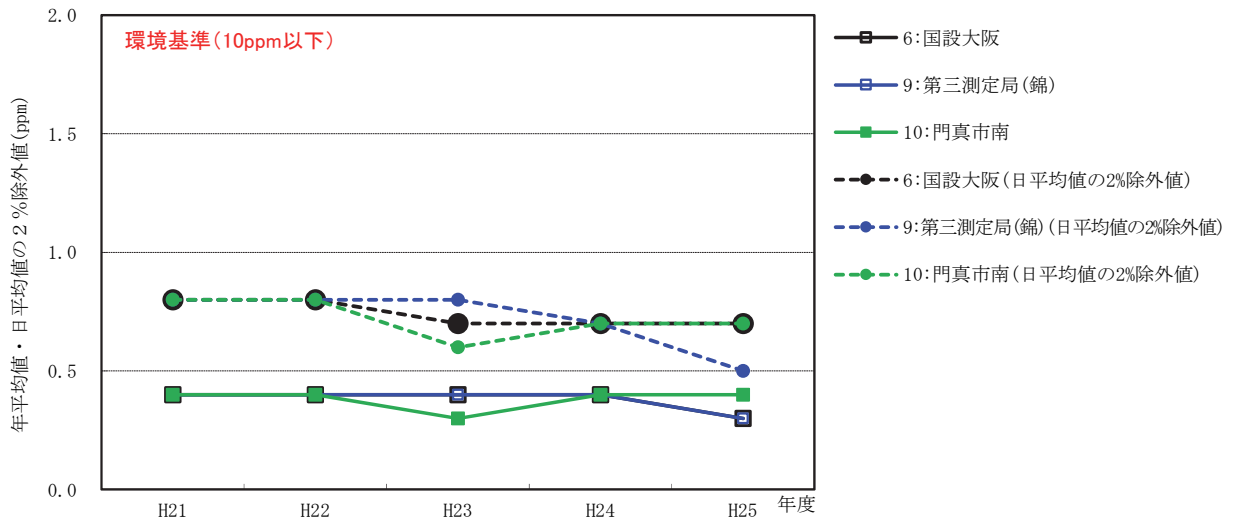


図 4-1-3(7) 一酸化炭素濃度の経年変化 (一般局)

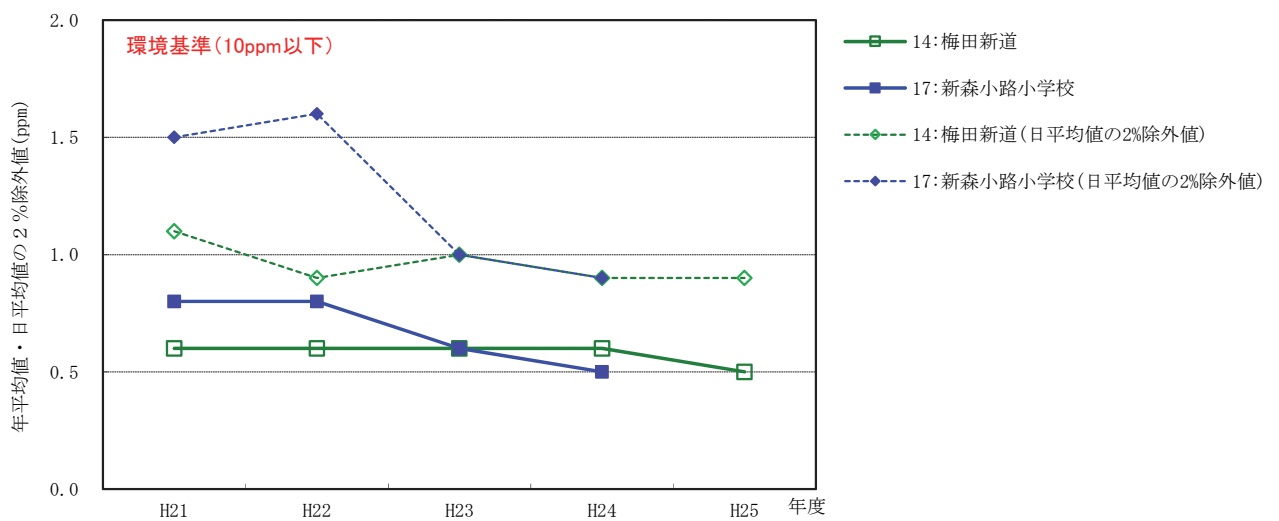
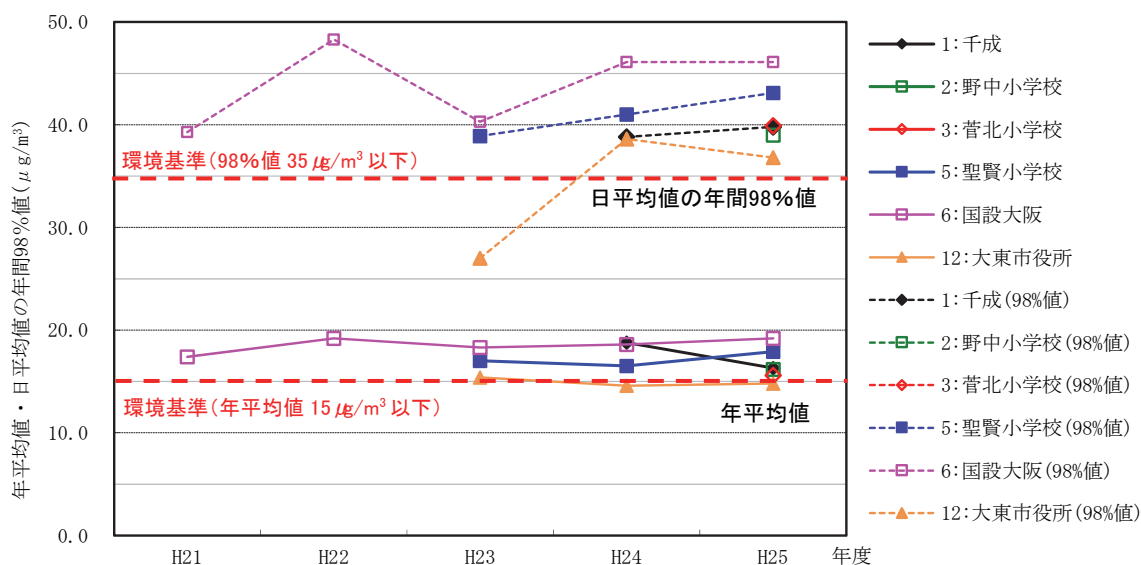


図 4-1-3(8) 一酸化炭素濃度の経年変化 (自排局)

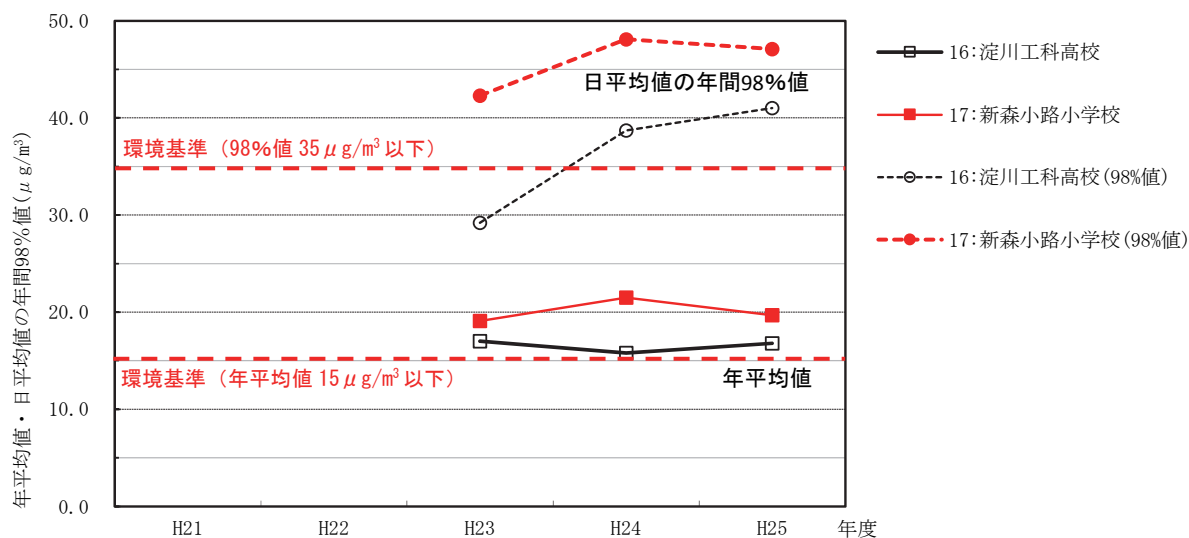
注) 17: 新森小路小学校局は平成24年度までの測定です。

出典: 平成25年度大気汚染常時測定局測定結果 (平成26年9月、大阪府)



- 注1) 6: 国設大阪局は平成21年度から測定です。2: 野中小学校局及び3: 菅北小学校局は平成25年度から測定です。その他は平成23年度から測定です。
- 注2) 1: 千成の H24年度及び大東市役所の H23年度の値は、年間の有効測定日数または有効測定時間に満たないデータを示します。また、6: 国設大阪局は、測定方法が環境省の認定基準を満たさず参考値として掲載しています。

図 4-1-3(9) 微小粒子状物質の経年変化（一般局）



- 注1) 平成23年度から測定です。
- 注2) 16: 淀川工科高校の H23年度の値は、年間の有効測定日数または有効測定時間に満たないデータを示します。

図 4-1-3(10) 微小粒子状物質の経年変化（自排局）

出典：平成25年度大気汚染常時測定局測定結果（平成26年9月、大阪府）

3) 騒音の状況

調査区域における道路交通騒音及び一般環境騒音の測定は、図 4-1-4 に示すとおり、環境基準の達成状況の調査として道路交通騒音 58 地点、一般環境騒音 32 地点で実施されています。

各測定地点の測定結果は、表 4-1-4(1)～(3)に示すとおりです。

道路交通騒音の測定結果によると、各測定地点の等価騒音レベル (LAeq) は、昼間 60～75dB、夜間 54～72dB となっており、環境基準を達成している測定地点は、58 地点のうち昼間 45 地点、夜間 35 地点となっています。また、要請限度[※]を超過している地点は、昼間は存在せず、夜間は 58 地点のうち 3 地点となっています。

一般環境騒音の測定結果によると、各測定地点の等価騒音レベル (LAeq) は、昼間 41～65dB、夜間 33～54dB となっており、環境基準を達成している測定地点は、32 地点のうち昼間 27 地点、夜間 25 地点となっています。

※要請限度：「騒音規制法第十七条第一項の規定に基づく指定地域内における自動車騒音の限度を定める省令」(平成12年3月2日、総理府令第15号)による自動車騒音の限度です。

表 4-1-4 (1) 騒音測定結果 (道路交通騒音)

No.	道路名	測定場所	地域類型	騒音レベル (dB) L _{Aeq}		基準値等との比較				実測 年度
				昼間	夜間	環境基準 達成状況		要請限度 との比較		
						昼間	夜間	昼間	夜間	
A1	国道 1 号	守口市浜町 1 丁目 5-15	近接空間	70	66	○	×	○	○	H24
A2	国道 1 号	守口市京阪本通 1 丁目 9-6	近接空間	70	67	○	×	○	○	H24
A3	国道 1 号	大阪市旭区森小路 1 丁目 10-5	近接空間	69	65	○	○	○	○	H24
A4	国道 1 号	大阪市城東区今福西 5 丁目 2	近接空間	66	62	○	○	○	○	H24
A5	国道 1 号	大阪市城東区蒲生 2 丁目 10	近接空間	69	67	○	×	○	○	H20
A6	国道 1 号	大阪市都島区東野田 1 丁目	近接空間	72	71	×	×	○	×	H24
A7	国道 1 号	大阪市北区天満橋 1 丁目 2	近接空間	66	64	○	○	○	○	H24
A8	国道 1 号	大阪市北区東天満 1 丁目 7-22	近接空間	67	66	○	×	○	○	H20
A9	国道 2 号	大阪市福島区福島 2 丁目 8-16	近接空間	68	64	○	○	○	○	H18
A10	国道 2 号	大阪市福島区海老江 8 丁目	近接空間	71	67	×	×	○	○	H24
A11	国道 25 号	大阪市中央区備後町 3 丁目 6-2	近接空間	68	66	○	×	○	○	H19
A12	国道 25 号	大阪市中央区北浜 4 丁目 3-11	近接空間	66	64	○	○	○	○	H18
A13	国道 163 号	守口市大宮通 4 丁目 15	近接空間	72	67	×	×	○	○	H20
A14	国道 163 号	門真市松生町 1	近接空間	74	71	×	×	○	×	H21
A15	国道 163 号	門真市舟田町 1-1	近接空間	71	68	×	×	○	○	H24
A16	国道 163 号	門真市打越町 1	近接空間	75	70	×	×	○	○	H22
A17	国道 163 号	寝屋川市堀溝 2 丁目 4-1	近接空間	72	69	×	×	○	○	H24
A18	国道 163 号	大阪市旭区新森 1 丁目 1-3	近接空間	70	63	○	○	○	○	H22
A19	国道 176 号	豊中市庄内東町 2 丁目 7-11	近接空間	69	62	○	○	○	○	H21
A20	国道 176 号	豊中市三国 2 丁目 1-1	近接空間	71	67	×	×	○	○	H21
環境基準値		幹線道路を担う道路に近接する空間 (近接空間) : 昼間 70 デシベル以下、夜間 65 デシベル以下								
要請限度値		幹線道路を担う道路に近接する区域 (近接空間) : 昼間 75 デシベル、夜間 70 デシベル								

注1) 時間区分 昼間 (6時~22時)、夜間 (22時~6時)

注2) 環境基準達成状況 ○ : 達成 × : 非達成

要請限度との比較 ○ : 要請限度値以下 × : 要請限度値超過

出典 : 国土交通省資料

表 4-1-4(2) 騒音測定結果（道路交通騒音・平成 24 年度）

No.	道路名	測定場所	車線数	地域類型	騒音レベル (dB)		基準値等との比較			
					L _{Aeq}		環境基準 達成状況		要請限度 との比較	
					昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
B1	国道 1 号バイパス	門真市大字三ツ島	4	近接空間	64	59	○	○	○	○
B2	国道 1 号バイパス	門真市沖町 30	4	近接空間	60	54	○	○	○	○
B3	国道 1 号	守口市京阪本通 2-6	4	近接空間	70	68	○	×	○	○
B4	国道 163 号	守口市大宮通 4-12	4	近接空間	66	62	○	○	○	○
B5	国道 163 号	門真市南野口町 9-4	4	近接空間	75	70	×	×	○	○
B6	国道 163 号	門真市一番町 1	4	近接空間	71	68	×	×	○	○
B7	国道 423 号	大阪市淀川区西中島 5-13	6	近接空間	65	62	○	○	○	○
B8	国道 423 号	大阪市北区豊崎 2-7-9	5	近接空間	70	68	○	×	○	○
B9	国道 479 号	守口市小春町 9-2	4	近接空間	67	63	○	○	○	○
B10	府道大阪中央環状線	大阪市鶴見区浜 2-2-62	2	近接空間	69	65	○	○	○	○
B11	府道大阪中央環状線	門真市堂山町 19-1	8	近接空間	75	72	×	×	○	×
B12	府道大阪臨海線	大阪市福島区野田 3-1-18	4	近接空間	69	63	○	○	○	○
B13	府道大阪臨海線	大阪市福島区玉川 1-4-11	6	近接空間	69	66	○	×	○	○
B14	府道石切大阪線	大阪市城東区新喜多 1-6-35	2	近接空間	64	61	○	○	○	○
B15	府道石切大阪線	東大阪市吉原 2-10	2	近接空間	66	60	○	○	○	○
B16	府道大阪生駒線	大東市太子田 1-12-38	2	近接空間	66	62	○	○	○	○
B17	府道大阪生駒線	東大阪市加納 3-8	4	近接空間	63	57	○	○	○	○
B18	府道八尾枚方線	大東市末広町 16-1	3	近接空間	68	64	○	○	○	○
B19	府道八尾枚方線	東大阪市東鴻池町 2-3	2	近接空間	69	66	○	×	○	○
B20	府道深野南寺方大阪線	守口市菊水通 4-21-18	2	近接空間	67	61	○	○	○	○
B21	市道九条梅田線	大阪市福島区海老江 1-6-19	4	近接空間	64	59	○	○	○	○
B22	市道大阪環状線	大阪市北区浮田 2-6-29	5	近接空間	69	67	○	×	○	○
B23	市道江戸堀線	大阪市西区土佐堀 2-3	5	近接空間	70	66	○	×	○	○
B24	市道裁判所東筋線	大阪市北区太融寺町 1-1	5	近接空間	65	61	○	○	○	○
B25	市道裁判所東筋線南側	大阪市北区西天満 3-9-5	4	近接空間	64	64	○	○	○	○
B26	市道十三吹田線	大阪市淀川区西中島 6-8-5	6	近接空間	67	60	○	○	○	○
B27	市道十三吹田線	大阪市東淀川区東中島 2-6	4	近接空間	61	55	○	○	○	○
B28	市道南淡路南方線	大阪市東淀川区西淡路 1-11	4	近接空間	60	54	○	○	○	○
B29	市道赤川天王寺線	大阪市都島区高倉町 1-6-3	4	近接空間	67	62	○	○	○	○
B30	市道扇町公園南通線	大阪市北区南扇町町 6-23	5	近接空間	67	64	○	○	○	○
B31	市道築港深江線	大阪市東成区東中本 2-3-15	6	近接空間	73	70	×	×	○	○
B32	市道中津太子橋線	大阪市北区長柄中 3-3	4	近接空間	71	65	×	○	○	○
B33	市道天満橋筋線	大阪市北区松ヶ枝町 1-38	4	近接空間	70	61	○	○	○	○
B34	市道北区第 133 号	大阪市北区長柄中 2-3	4	近接空間	66	61	○	○	○	○
B35	市道東大阪中央線	東大阪市本庄中	6	近接空間	67	62	○	○	○	○
B36	市道柳通線	東大阪市森河内西 2-1	2	近接空間	63	54	○	○	○	○
B37	市道馬場菊水線	守口市松下町 1-55	4	近接空間	69	61	○	○	○	○
B38	市道南寺方 24 号	守口市南寺方東通 4-14	2	C	65	59	○	○	○	○
環境基準値		道路に面する地域・C 地域：昼間 65 デシベル以下、夜間 60 デシベル以下 幹線道路を担う道路に近接する空間（近接空間）：昼間 70 デシベル以下、夜間 65 デシベル以下								
要請限度値		幹線道路を担う道路に近接する区域（近接空間）：昼間 75 デシベル、夜間 70 デ シベル								

注1) 時間区分 昼間（6時～22時）、夜間（22時～6時）

注2) 環境基準達成状況 ○：達成 ×：非達成

要請限度との比較 ○：要請限度以下 ×：要請限度超過

出典：平成24年度 騒音環境モニタリング調査結果報告書（平成26年2月、大阪府環境農林水産部 環境管理室交
通環境課）

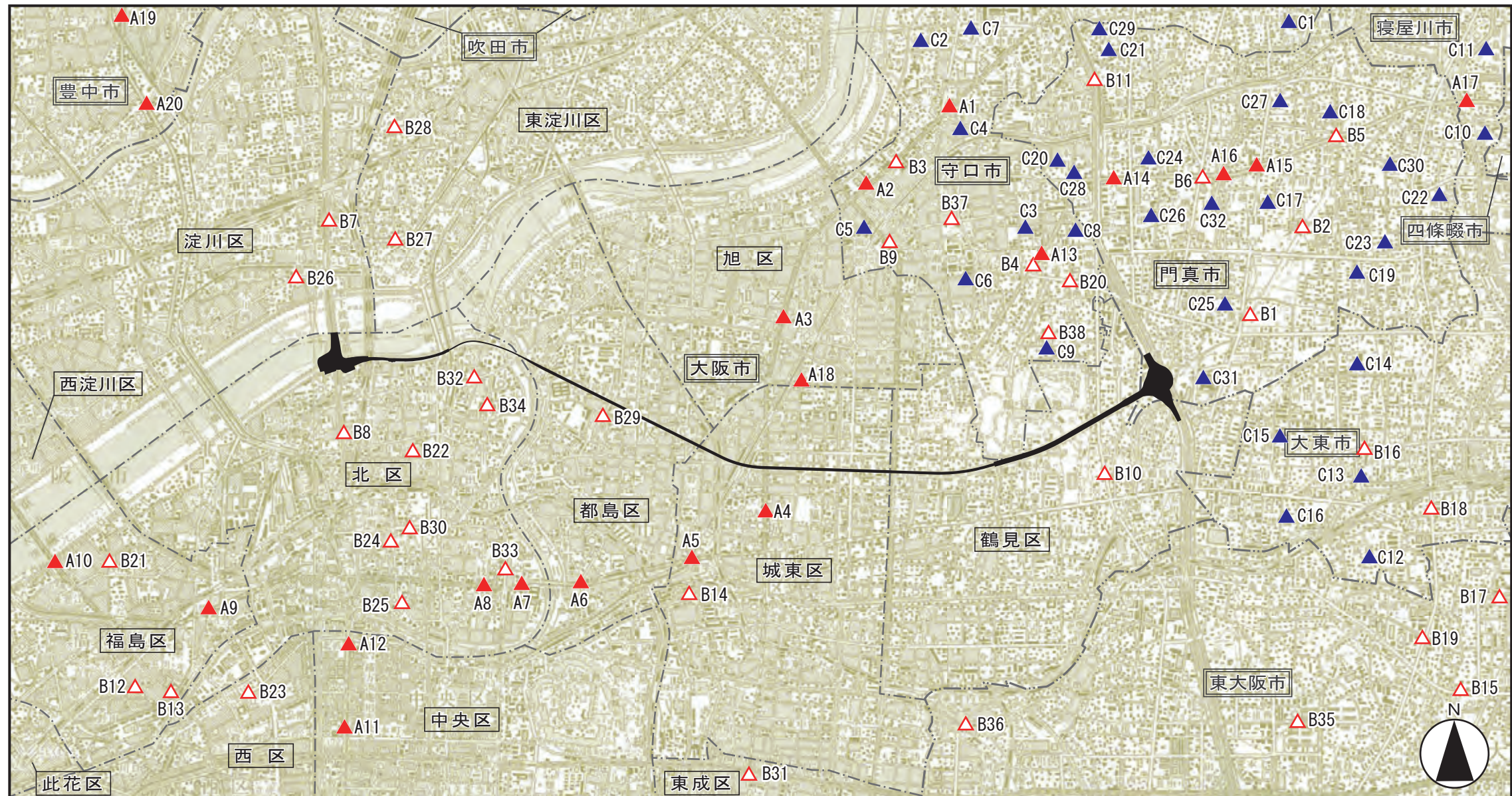
表 4-1-4(3) 騒音測定結果（一般環境騒音・平成 24 年度）

No.	測定場所	地域 類型	騒音レベル (dB) LAeq		基準値等との比較	
			昼間	夜間	環境基準 達成状況	
					昼間	夜間
C1	守口市藤田町 5-27-1	A	47	39	○	○
C2	守口市八雲西町 1-31-3	A	49	39	○	○
C3	守口市大宮通 3-11-3	A	49	38	○	○
C4	守口市松月町 5-7	B	51	50	○	×
C5	守口市紅屋町 1-22	B	55	48	○	×
C6	守口市南寺方北通 2-3	B	48	44	○	○
C7	守口市八雲中町 2-12	C	52	47	○	○
C8	守口市東郷通 1-4	C	55	49	○	○
C9	守口市南寺方東通 4-23	C	53	48	○	○
C10	寝屋川市堀溝 3-10-10	A	41	41	○	○
C11	寝屋川市讃良東町 6-1	B	48	45	○	○
C12	大東市灰塚 4-301-3	A	51	44	○	○
C13	大東市太子田 2-130	B	52	41	○	○
C14	大東市御領 3-426-2	C	53	42	○	○
C15	大東市新田中町 6	C	53	43	○	○
C16	大東市諸福 3-151-4	C	55	45	○	○
C17	門真市沖町 5-5	A	57	44	×	○
C18	門真市上野口町 34-12	A	61	49	×	×
C19	門真市千石東町 9-27	A	56	52	×	×
C20	門真市本町 34-12	A	48	42	○	○
C21	門真市月出町 15-24	A	41	42	○	○
C22	門真市岸和田 1-8-1	A	45	49	○	×
C23	門真市下馬伏町 1-22	A	65	51	×	×
C24	門真市柳町 15-17	B	58	54	×	×
C25	門真市三ツ島 1-16-25	B	55	33	○	○
C26	門真市深田町 19-5	C	51	38	○	○
C27	門真市野里町 16-9	C	47	44	○	○
C28	門真市栄町 21-33	C	55	47	○	○
C29	門真市向島町 16-10	C	50	38	○	○
C30	門真市四宮 4-4	C	60	49	○	○
C31	門真市三ツ島 3-7-16	C	60	37	○	○
C32	門真市一番町 16-7	B	49	43	○	○
環境基準値		A 及び B 類型： 昼間 55 デシベル以下、夜間 45 デシベル以下 C 類型： 昼間 60 デシベル以下、夜間 50 デシベル以下				

注1) 時間区分 昼間（6時～22時）、夜間（22時～6時）

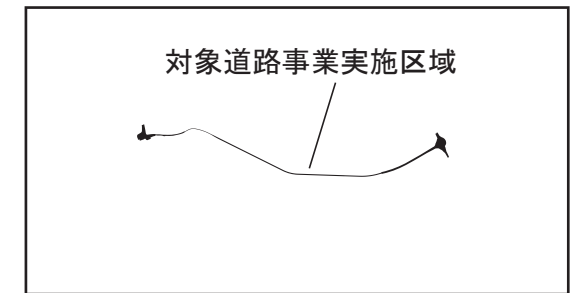
注2) 環境基準達成状況 ○：達成 ×：非達成

出典：平成24年度騒音環境モニタリング調査結果報告書（平成26年2月、大阪府環境農林水産部環境管理室交通環境課）



凡 例		
記号	番号	名称
▲	A1~20	道路交通騒音
△	B1~38	
▲	C1~32	一般環境騒音

出典：国土交通省資料
 平成24年度 騒音環境モニタリング調査結果報告書
 (平成26年2月、大阪府環境農林水産部環境管理室交通環境課)



図名

図4-1-4 騒音調査地点位置図

4) 振動の状況

調査区域における道路交通振動の平成 24 年度の測定地点は、図 4-1-5 に、測定結果は表 4-1-5 に示すとおりです。

測定結果によると、各測定地点の振動レベルの 80%レンジ上端値(L₁₀)は、昼間 34～51dB、夜間 30dB～48dB となっており、すべての地点で要請限度*を下回っています。

※要請限度：「振動規制法施行規則」(昭和51年11月10日、総理府令第58号)による道路交通振動の限度です。

表 4-1-5 道路交通振動測定結果

No.	道路名	測定地点住所	区分	車線数	振動レベル (dB)L ₁₀		要請限度との比較	
					昼間	夜間	昼間	夜間
1	国道 163 号	守口市大宮通 4-12	1	4	39	31	○	○
2	国道 163 号	門真市大池町 43-12	2	4	44	—	○	—
3	国道 423 号	大阪市淀川区西中島 5-13	2	6	36	39	○	○
4	国道 423 号	大阪市北区豊崎 2-7-9	2	5	45	41	○	○
5	国道 479 号	守口市小春町 9-2	1	4	45	39	○	○
6	府道大阪中央環状線	大阪市鶴見区浜 2-2-62	1	2	49	35	○	○
7	府道大阪中央環状線	門真市新橋町 15-26	2	10	51	—	○	—
8	府道大阪臨海線	大阪市福島区野田 3-1-18	2	4	46	37	○	○
9	府道大阪臨海線	大阪市福島区玉川 1-4-11	2	6	44	41	○	○
10	府道石切大阪線	大阪市城東区新喜多 1-6-35	2	2	42	39	○	○
11	府道八尾枚方線	門真市江端町 29-13	1	2	51	—	○	—
12	府道深野南寺方大阪線	守口市菊水通 4-21-18	2	2	41	32	○	○
13	府道深野南方大阪線	門真市三ツ島 836	1	2	48	—	○	—
14	市道九条梅田線	大阪市福島区海老江 1-6-19	2	4	44	36	○	○
15	市道大阪環状線	大阪市北区浮田 2-6-29	2	5	45	42	○	○
16	市道江戸堀線	大阪市西区土佐堀 2-3	2	5	47	37	○	○
17	市道裁判所東筋線	大阪市北区太融寺町 1-1	2	5	40	42	○	○
18	市道裁判所東筋線南側	大阪市北区西天満 3-9-5	2	4	36	34	○	○
19	市道十三吹田線	大阪市淀川区西中島 6-8-5	2	6	39	34	○	○
20	市道十三吹田線	大阪市東淀川区東中島 2-6	2	4	38	35	○	○
21	市道南淡路南方線	大阪市東淀川区西淡路 1-11	2	4	35	<30	○	○
22	市道赤川天王寺線	大阪市都島区高倉町 1-6-3	1	4	40	34	○	○
23	市道扇町公園南通線	大阪市北区南扇町町 6-23	2	5	34	<30	○	○
24	市道築港深江線	大阪市東成区東中本 2-3-15	2	6	49	48	○	○
25	市道中津太子橋線	大阪市北区長柄中 3-3	2	4	48	42	○	○
26	市道天満橋筋線	大阪市北区松ヶ枝町 1-38	2	4	43	36	○	○
27	市道北区第 133 号	大阪市北区長柄中 2-3	1	4	42	32	○	○
28	市道馬場菊水線	守口市松下町 1-55	1	4	41	39	○	○
29	市道南方 24 号	守口市南寺方東通 4-14	2	2	43	34	○	○
要請限度値		第 1 種区域：昼間 65 デシベル、夜間 60 デシベル 第 2 種区域：昼間 70 デシベル、夜間 65 デシベル						

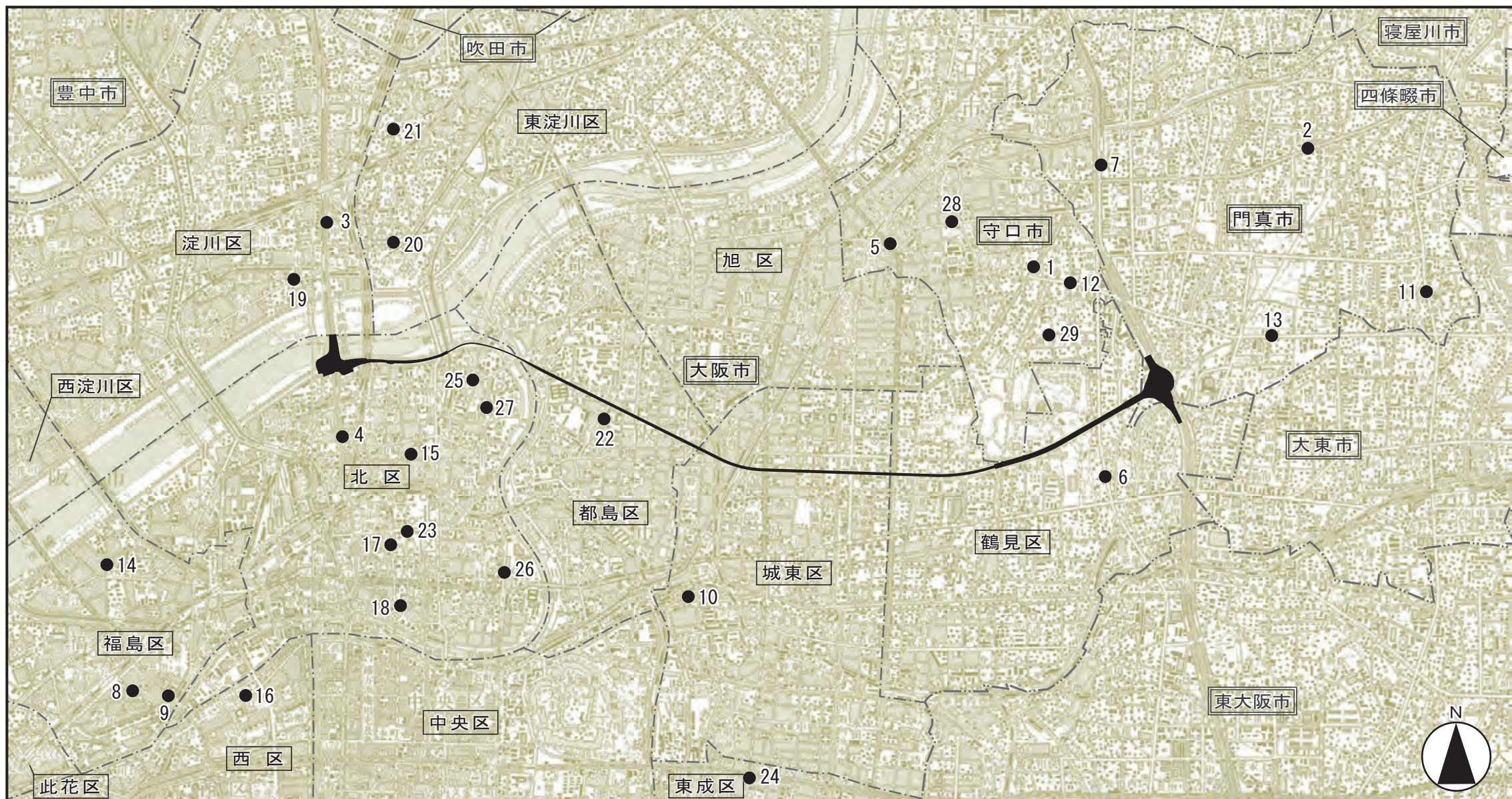
注1) 区分 1：第1種区域、2：第2種区域

注2) 時間区分 昼間：6時～21時、夜間：21時～翌日の6時

注3) 「—」は測定を実施していません。「<」は30dB未滿を示します。

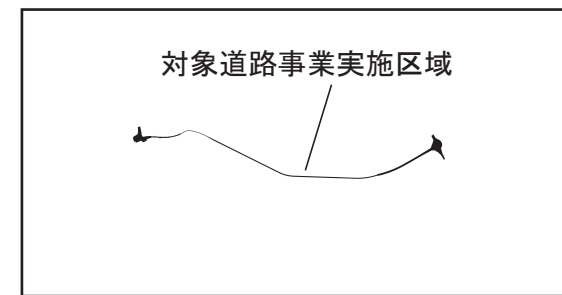
注4) 要請限度との比較 ○：要請限度値以下、×：要請限度値超過を示します。

出典：平成24年度騒音環境モニタリング調査結果報告書(平成26年2月、大阪府環境農林水産部環境管理室交通環境課)



凡 例		
記号	番号	名称
●	1~29	振動調査地点

出典：平成24年度 騒音環境モニタリング調査結果報告書
 (平成26年2月、大阪府環境農林水産部環境管理室交通環境課)



1000m 0 1 2km
 Scale 1:50,000

図名

図4-1-5 振動調査地点位置図

1.2 水象、水質、水底の底質その他の水に係る環境の状況

1) 水象の状況

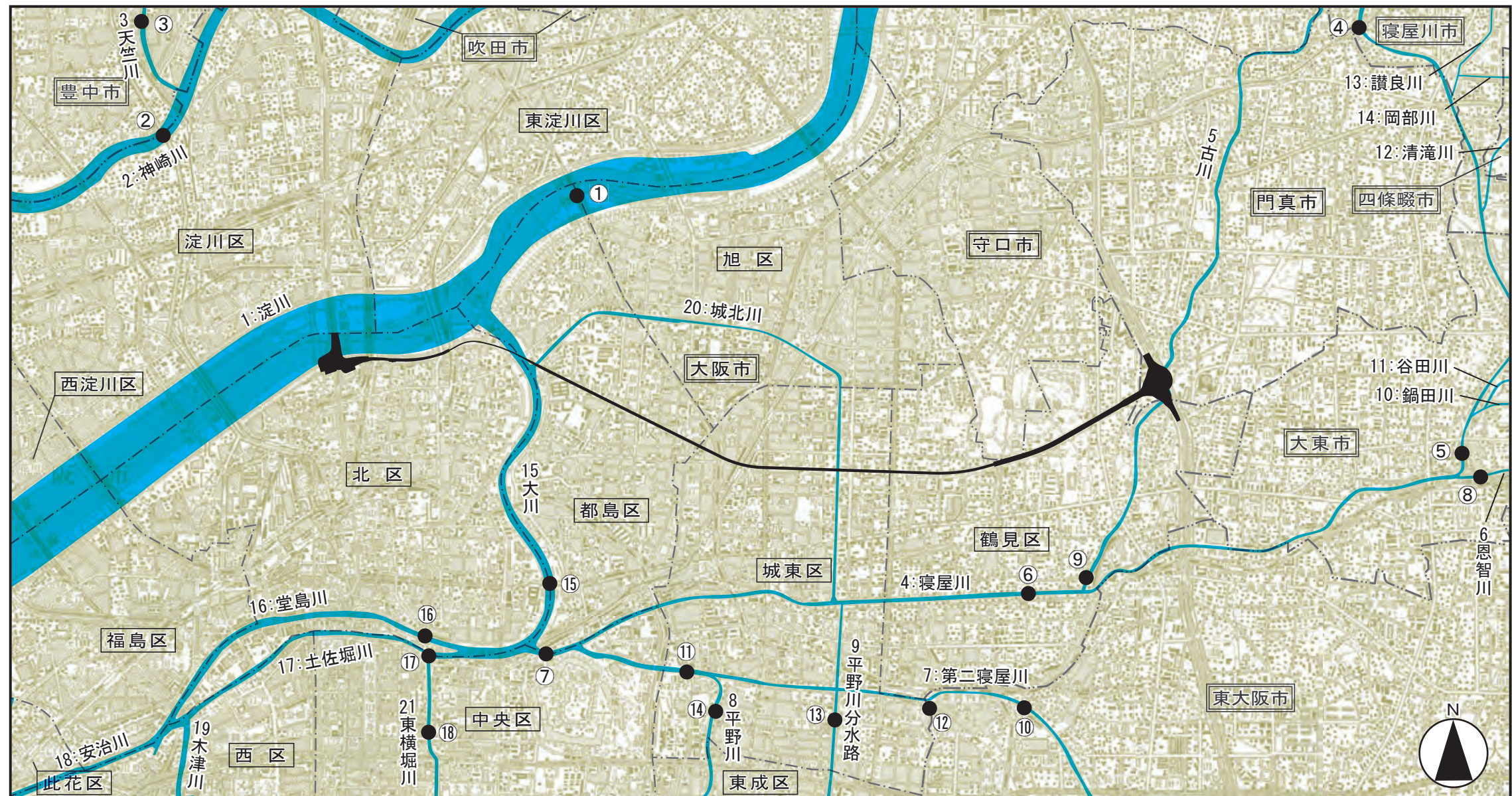
調査区域の主な河川は、図 4-1-6 に示すとおりです。

主な河川としては、表 4-1-6 に示す 21 の河川があり、すべて淀川水系に属しており、概ね東から西に向かって流れています。対象道路事業実施区域は、古川と城北川、大川が交差するほか、淀川の一部にかかります。

表 4-1-6 対象道路事業実施区域及びその周辺の主な河川

水 域	番号	河川名	等級	水 域	番号	河川名	等級
淀川水域	1	淀川	一級河川	寝屋川水域	12	清滝川	一級河川
神崎川水域	2	神崎川			13	讃良川	
	3	天竺川			14	岡部川	
寝屋川水域	4	寝屋川		大阪市内河川	15	大川	
	5	古川			16	堂島川	
	6	恩智川			17	土佐堀川	
	7	第二寝屋川			18	安治川	
	8	平野川			19	木津川	
	9	平野川分水路			20	城北川	
	10	鍋田川			21	東横堀川	
	11	谷田川					

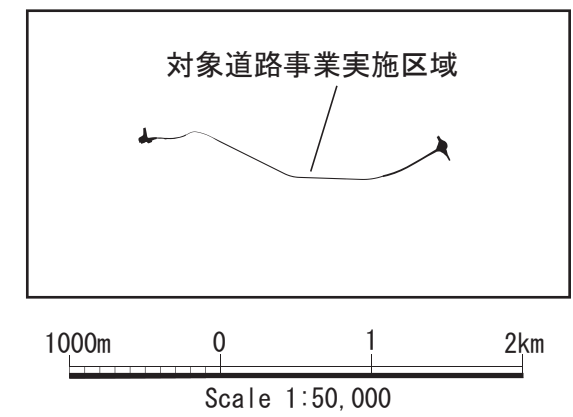
出典：大阪府管内河川指定状況調書（平成19年3月、大阪府都市整備部河川室）



凡 例			
番号	河川名	番号	河川名
1	淀川	12	清滝川
2	神崎川	13	讃良川
3	天竺川	14	岡部川
4	寝屋川	15	大川
5	古川	16	堂島川
6	恩智川	17	土佐堀川
7	第二寝屋川	18	安治川
8	平野川	19	木津川
9	平野川分水路	20	城北川
10	鍋田川	21	東横堀川
11	谷田川		

凡 例					
番号	河川名	調査地点	番号	河川名	調査地点
①	淀川	西日本旅客鉄道(株)赤川鉄橋	⑩	第二寝屋川	新金吾郎橋
②	神崎川	新三国橋	⑪	第二寝屋川	下城見橋
③	天竺川	神崎川合流直前	⑫	長瀬川	第二寝屋川合流直前
④	寝屋川	萱島橋	⑬	平野川分水路	天王田大橋
⑤	寝屋川	住道大橋	⑭	平野川	城見橋
⑥	寝屋川	今津橋	⑮	大川	桜宮橋
⑦	寝屋川	京橋	⑯	堂島川	天神橋
⑧	恩智川	住道新橋	⑰	土佐堀川	天神橋
⑨	古川	徳栄橋	⑱	東横堀川	本町橋

出典：大阪府管内河川指定状況調査（平成19年3月、大阪府都市整備部河川室）
平成25年度大阪府域河川等水質調査結果報告書（平成27年2月、大阪府）



図名 図4-1-6 水象の現況図及び水質測定地点位置図

2) 水質の状況

調査区域における河川の水質測定地点は、前掲の図 4-1-6 に、測定結果は表 4-1-7(1)～(3) に示すとおりです。

平成 25 年度の調査結果は、健康項目については、18 地点すべての地点で環境基準を達成しています。

また、生活環境項目の生物化学的酸素要求量 (BOD)、浮遊物質 (SS) については 18 地点すべての地点において環境基準を達成しています。水素イオン濃度 (pH) については 2 地点 (新三国橋、萱島橋) で、溶存酸素量 (DO) については 2 地点 (城見橋、本町橋) で、大腸菌群数については 5 地点 (赤川鉄橋、新三国橋、桜宮橋、天神橋(堂島川)、本町橋) で環境基準を超過しています。

表 4-1-7(1) 河川水質測定結果 (健康項目・平成 25 年度)

単位: mg/L

水質測定地点		1		2		3		4		5		6	
		淀川		神崎川		天竺川		寝屋川		寝屋川		寝屋川	
		赤川鉄橋		新三国橋		神崎川合流直前		萱島橋		住道大橋		今津橋	
項目	環境基準値	年間平均値	m/n	年間平均値	m/n	年間平均値	m/n	年間平均値	m/n	年間平均値	m/n	年間平均値	m/n
カドミウム	≦0.003	<0.0003	0/2	<0.0003	0/2	<0.0003	0/2	<0.0003	0/4	<0.0003	0/2	<0.0003	0/4
全リン	検出されないこと	N.D.	0/2	N.D.	0/2	N.D.	0/2	N.D.	0/4	N.D.	0/2	N.D.	0/4
鉛	≦0.01	<0.005	0/4	<0.005	0/2	<0.005	0/2	<0.005	0/4	<0.005	0/2	<0.005	0/6
六価クロム	≦0.05	<0.02	0/2	<0.02	0/2	<0.02	0/2	<0.02	0/4	<0.02	0/2	<0.02	0/4
砒素	≦0.01	<0.005	0/4	<0.005	0/2	<0.005	0/2	<0.005	0/4	<0.005	0/2	<0.005	0/4
総水銀	≦0.0005	<0.0005	0/2	<0.0005	0/2	<0.0005	0/2	<0.0005	0/4	<0.0005	0/2	<0.0005	0/4
メチル水銀	検出されないこと	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
PCB	検出されないこと	N.D.	0/1	N.D.	0/1	N.D.	0/1	N.D.	0/2	N.D.	0/1	N.D.	0/1
ジクロロメタン	≦0.02	<0.002	0/4	<0.002	0/2	<0.002	0/2	<0.002	0/4	<0.002	0/2	<0.002	0/4
四塩化炭素	≦0.002	<0.0002	0/2	<0.0002	0/2	<0.0002	0/2	<0.0002	0/4	<0.0002	0/2	<0.0002	0/4
1,2-ジクロロエタン	≦0.004	<0.0004	0/2	<0.0004	0/2	<0.0004	0/2	<0.0004	0/4	<0.0004	0/2	<0.0004	0/4
1,1-ジクロロエチレン	≦0.1	<0.002	0/2	<0.002	0/2	<0.002	0/2	<0.002	0/4	<0.002	0/2	<0.002	0/4
ジス-1,2-ジクロロエチレン	≦0.04	<0.004	0/2	<0.004	0/2	<0.004	0/2	<0.004	0/4	<0.004	0/2	<0.004	0/4
1,1,1-トリクロロエタン	≦1	<0.0005	0/2	<0.0005	0/2	<0.0005	0/2	<0.0005	0/4	<0.0005	0/2	<0.0005	0/4
1,1,2-トリクロロエタン	≦0.006	<0.0006	0/2	<0.0006	0/2	<0.0006	0/2	<0.0006	0/4	<0.0006	0/2	<0.0006	0/4
トリクロロエチレン	≦0.03	<0.002	0/2	<0.002	0/2	<0.002	0/2	<0.002	0/4	<0.002	0/2	<0.002	0/4
テトラクロロエチレン	≦0.01	<0.0005	0/4	<0.0005	0/2	<0.0005	0/2	<0.0005	0/4	<0.0005	0/2	<0.0005	0/4
1,3-ジクロロプロパン	≦0.002	<0.0002	0/1	<0.0002	0/1	<0.0002	0/2	<0.0002	0/4	<0.0002	0/2	<0.0002	0/4
チオラム	≦0.006	<0.0006	0/1	<0.0006	0/1	<0.0006	0/2	<0.0006	0/4	<0.0006	0/2	<0.0006	0/4
シアン	≦0.003	<0.0003	0/1	<0.0003	0/1	<0.0003	0/2	<0.0003	0/4	<0.0003	0/2	<0.0003	0/4
チオネンカルブ	≦0.02	<0.002	0/1	<0.002	0/1	<0.002	0/2	<0.002	0/4	<0.002	0/2	<0.002	0/4
ベンゼン	≦0.01	<0.001	0/2	<0.001	0/2	<0.001	0/2	<0.001	0/4	<0.001	0/2	<0.001	0/4
ゼレン	≦0.01	<0.002	0/2	<0.002	0/2	<0.002	0/2	<0.002	0/4	<0.002	0/2	<0.002	0/4
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	≦10	0.88	0/12	2.5	0/2	0.39	0/2	8.4	0/4	5.3	0/6	4.9	0/4
ふっ素	≦0.8	0.09	0/4	0.21	0/2	0.14	0/2	0.11	0/4	0.12	0/2	0.13	0/4
ほう素	≦1	0.02	0/4	0.35	0/2	0.05	0/2	0.05	0/4	0.05	0/2	0.05	0/4
1,4-ジオキサン	≦0.05	<0.005	0/2	<0.005	0/2	<0.005	0/2	<0.005	0/2	<0.005	0/2	<0.005	0/2

水質測定地点		7		8		9		10		11		12	
		寝屋川		恩智川		古川		第二寝屋川		第二寝屋川		長瀬川	
		京橋		住道新橋		徳栄橋		新金吾郎橋		下城見橋		第二寝屋川合流直前	
項目	環境基準値	年間平均値	m/n	年間平均値	m/n	年間平均値	m/n	年間平均値	m/n	年間平均値	m/n	年間平均値	m/n
カドミウム	≦0.003	<0.0003	0/4	<0.0003	0/2	<0.0003	0/4	<0.0003	0/4	<0.0003	0/2	<0.0003	0/4
全リン	検出されないこと	N.D.	0/4	N.D.	0/2	N.D.	0/4	N.D.	0/4	N.D.	0/2	N.D.	0/4
鉛	≦0.01	<0.005	0/6	<0.005	0/2	0.005	0/6	<0.005	0/4	<0.005	0/2	<0.005	0/4
六価クロム	≦0.05	<0.02	0/4	<0.02	0/2	<0.02	0/4	<0.02	0/4	<0.02	0/2	<0.02	0/4
砒素	≦0.01	<0.005	0/4	<0.005	0/2	<0.005	0/4	<0.005	0/4	<0.005	0/2	<0.005	0/4
総水銀	≦0.0005	<0.0005	0/4	<0.0005	0/2	<0.0005	0/4	<0.0005	0/4	<0.0005	0/2	<0.0005	0/4
メチル水銀	検出されないこと	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
PCB	検出されないこと	N.D.	0/1	N.D.	0/1	N.D.	0/1	N.D.	0/1	N.D.	0/1	N.D.	0/1
ジクロロメタン	≦0.02	<0.002	0/4	<0.002	0/2	<0.002	0/4	<0.002	0/4	<0.002	0/4	<0.002	0/4
四塩化炭素	≦0.002	<0.0002	0/4	<0.0002	0/2	<0.0002	0/4	<0.0002	0/4	<0.0002	0/2	<0.0002	0/4
1,2-ジクロロエタン	≦0.004	<0.0004	0/4	<0.0004	0/2	<0.0004	0/4	<0.0004	0/4	<0.0004	0/2	<0.0004	0/4
1,1-ジクロロエチレン	≦0.1	<0.002	0/4	<0.002	0/2	<0.002	0/4	<0.002	0/4	<0.002	0/2	<0.002	0/4
ジス-1,2-ジクロロエチレン	≦0.04	<0.004	0/4	<0.004	0/2	<0.004	0/4	<0.004	0/4	<0.004	0/2	<0.004	0/4
1,1,1-トリクロロエタン	≦1	<0.0005	0/4	<0.0005	0/2	<0.0005	0/4	<0.0005	0/4	<0.0005	0/2	<0.0005	0/4
1,1,2-トリクロロエタン	≦0.006	<0.0006	0/4	<0.0006	0/2	<0.0006	0/4	<0.0006	0/4	<0.0006	0/2	<0.0006	0/4
トリクロロエチレン	≦0.03	<0.002	0/4	<0.002	0/2	<0.002	0/4	<0.002	0/4	<0.002	0/2	<0.002	0/4
テトラクロロエチレン	≦0.01	<0.0005	0/4	<0.0005	0/2	<0.0005	0/4	<0.0005	0/4	<0.0005	0/2	<0.0005	0/4
1,3-ジクロロプロパン	≦0.002	<0.0002	0/4	<0.0002	0/2	<0.0002	0/4	<0.0002	0/4	<0.0002	0/2	<0.0002	0/4
チオラム	≦0.006	<0.0006	0/4	<0.0006	0/2	<0.0006	0/4	<0.0006	0/4	<0.0006	0/2	<0.0006	0/4
シアン	≦0.003	<0.0003	0/4	<0.0003	0/2	<0.0003	0/4	<0.0003	0/4	<0.0003	0/2	<0.0003	0/4
チオネンカルブ	≦0.02	<0.002	0/4	<0.002	0/2	<0.002	0/4	<0.002	0/4	<0.002	0/2	<0.002	0/4
ベンゼン	≦0.01	<0.001	0/4	<0.001	0/2	<0.001	0/4	<0.001	0/4	<0.001	0/2	<0.001	0/4
ゼレン	≦0.01	<0.002	0/4	<0.002	0/2	<0.002	0/4	<0.002	0/4	<0.002	0/2	<0.002	0/4
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	≦10	2.7	0/4	4.2	0/6	4.2	0/4	7.1	0/6	4.6	0/4	4.5	0/4
ふっ素	≦0.8	0.14	0/4	0.13	0/2	0.14	0/4	0.10	0/4	0.18	0/2	0.10	0/4
ほう素	≦1	0.06	0/4	0.06	0/2	0.05	0/4	0.09	0/4	0.07	0/2	0.10	0/4
1,4-ジオキサン	≦0.05	<0.005	0/2	<0.005	0/2	<0.005	0/2	0.006	0/4	<0.005	0/2	<0.005	0/4

表 4-1-7(2) 河川水質測定結果（健康項目・平成 25 年度）

単位：mg/L

水質測定地点		13		14		15		16		17		18	
		平野川分水路		平野川		大川		堂島川		土佐堀川		東横堀川	
		天王田大橋		城見橋		桜宮橋		天神橋		天神橋		本町橋	
項目	環境基準値	年間平均値	m/n	年間平均値	m/n	年間平均値	m/n	年間平均値	m/n	年間平均値	m/n	年間平均値	m/n
カドミウム	≦0.003	<0.0003	0/4	<0.0003	0/4	<0.0003	0/2	<0.0003	0/2	<0.0003	0/2	<0.0003	0/2
全シアン	検出されないこと	N.D.	0/4	N.D.	0/4	N.D.	0/2	N.D.	0/2	N.D.	0/2	N.D.	0/2
鉛	≦0.01	<0.005	0/4	<0.005	0/4	<0.005	0/4	<0.005	0/4	<0.005	0/4	<0.005	0/2
六価クロム	≦0.05	<0.02	0/4	<0.02	0/4	<0.02	0/2	<0.02	0/2	<0.02	0/2	<0.02	0/2
砒素	≦0.01	<0.005	0/4	<0.005	0/4	<0.005	0/2	<0.005	0/2	<0.005	0/2	<0.005	0/2
総水銀	≦0.0005	<0.0005	0/4	<0.0005	0/4	<0.0005	0/2	<0.0005	0/2	<0.0005	0/2	<0.0005	0/2
アルキル水銀	検出されないこと	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
PCB	検出されないこと	N.D.	0/1	N.D.	0/1	N.D.	0/1	N.D.	0/1	N.D.	0/1	N.D.	0/1
ジクロロメタン	≦0.02	0.002	0/4	<0.002	0/4	<0.002	0/2	<0.002	0/2	<0.002	0/2	<0.002	0/2
四塩化炭素	≦0.002	<0.0002	0/4	<0.0002	0/4	<0.0002	0/2	<0.0002	0/2	<0.0002	0/2	<0.0002	0/2
1,2-ジクロロエタン	≦0.004	<0.0004	0/4	<0.0004	0/4	<0.0004	0/2	<0.0004	0/2	<0.0004	0/2	<0.0004	0/2
1,1-ジクロロエチレン	≦0.1	<0.002	0/4	<0.002	0/4	<0.002	0/2	<0.002	0/2	<0.002	0/2	<0.002	0/2
シス-1,2-ジクロロエチレン	≦0.04	<0.004	0/4	<0.004	0/4	<0.004	0/2	<0.004	0/2	<0.004	0/2	<0.004	0/2
1,1,1-トリクロロエタン	≦1	<0.0005	0/4	<0.0005	0/4	<0.0005	0/2	<0.0005	0/2	<0.0005	0/2	<0.0005	0/2
1,1,2-トリクロロエタン	≦0.006	<0.0006	0/4	<0.0006	0/4	<0.0006	0/2	<0.0006	0/2	<0.0006	0/2	<0.0006	0/2
トリクロロエチレン	≦0.03	<0.002	0/4	<0.002	0/4	<0.002	0/2	<0.002	0/2	<0.002	0/2	<0.002	0/2
テトラクロロエチレン	≦0.01	<0.0005	0/4	0.0005	0/4	<0.0005	0/2	<0.0005	0/2	<0.0005	0/2	<0.0005	0/2
1,3-ジクロロプロパン	≦0.002	<0.0002	0/4	<0.0002	0/4	<0.0002	0/2	<0.0002	0/2	<0.0002	0/2	<0.0002	0/2
チカラム	≦0.006	<0.0006	0/4	<0.0006	0/4	<0.0006	0/2	<0.0006	0/2	<0.0006	0/2	<0.0006	0/2
シマジン	≦0.003	<0.0003	0/4	<0.0003	0/4	<0.0003	0/2	<0.0003	0/2	<0.0003	0/2	<0.0003	0/2
チベンチカルブ	≦0.02	<0.002	0/4	<0.002	0/4	<0.002	0/2	<0.002	0/2	<0.002	0/2	<0.002	0/2
ベンゼン	≦0.01	<0.001	0/4	<0.001	0/4	<0.001	0/2	<0.001	0/2	<0.001	0/2	<0.001	0/2
セレン	≦0.01	<0.002	0/4	<0.002	0/4	<0.002	0/2	<0.002	0/2	<0.002	0/2	<0.002	0/2
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	≦10	7.5	0/4	4.9	0/4	0.85	0/4	1.5	0/4	1.7	0/4	1.5	0/4
ふっ素	≦0.8	0.20	0/4	0.16	0/4	0.11	0/2	0.12	0/2	0.12	0/2	0.12	0/2
ほう素	≦1	0.10	0/4	0.08	0/4	0.03	0/2	0.03	0/2	0.03	0/2	0.02	0/2
1,4-ジオキサン	≦0.05	<0.005	0/2	<0.005	0/2	<0.005	0/2	<0.005	0/2	<0.005	0/2	<0.005	0/2

注1) m/nのnは調査対象検体数、mは環境基準値を超えた検体数を示します。

注2) N.D.は定量下限値未満、—：未測定（ただし、アルキル水銀については総水銀が検出された時に限り、当該検体のみ分析を実施します。）

注3) 全シアンは年間の最高値を環境基準値と比較します。それ以外の項目は年間平均値を環境基準値と比較します。

注4) 環境基準値は平成25年度時点の値です。

出典：平成25年度大阪府域河川等水質調査結果報告書（平成27年2月、大阪府）

表 4-1-7(3) 河川水質測定結果（生活環境項目・平成 25 年度）

水質 測定地点		1		2		3		4		5	
		淀川		神崎川		天竺川		寝屋川		寝屋川	
		赤川鉄橋		新三国橋		神崎川合流直前		萱島橋		住道大橋	
類型		B		B		—		C		C	
項目	単位	年間測定値	m/n	年間測定値	m/n	年間測定値	m/n	年間測定値	m/n	年間測定値	m/n
pH	—	7.5~7.9	0/12	7.0~8.7	1/48	7.8~9.6	-/16	6.9~9.3	3/48	7.1~8.5	0/48
DO	mg/L	9.5	0/12	8.0	0/12	11.0	-/4	11	0/12	8.5	0/12
BOD	mg/L	1.3(1.6)	0/12	1.5(1.6)	0/12	0.9(1.0)	-/4	1.6(1.9)	0/12	1.7(2.1)	0/12
COD	mg/L	3.5	-/12	5.5	-/12	4.4	-/4	8.9	-/12	7.0	-/12
SS	mg/L	6	0/12	5	0/12	1	-/4	2	0/12	6	0/12
大腸菌群数	MPN/100mL	6.1×10 ³	2/12	1.2×10 ⁴	6/12			5.0×10 ³	-/12		

水質 測定地点		6		7		8		9		10	
		寝屋川		寝屋川		恩智川		古川		第二寝屋川	
		今津橋		京橋		住道新橋		徳栄橋		新金吾郎橋	
類型		D		D		D		D		D	
項目	単位	年間測定値	m/n	年間測定値	m/n	年間測定値	m/n	年間測定値	m/n	年間測定値	m/n
pH	—	6.9~7.5	0/48	6.7~7.6	0/48	7.1~8.5	0/48	6.7~7.5	0/48	6.7~7.9	0/48
DO	mg/L	5.0	0/12	6.1	0/12	6.8	0/12	4.6	0/12	7.5	0/12
BOD	mg/L	4.9(5.5)	1/12	3.2(3.8)	1/12	2.7(3.2)	0/12	3.7(4.4)	0/12	6.0(6.9)	3/12
COD	mg/L	8.6	-/12	6.2	-/12	7.5	-/12	7.5	-/12	8.2	-/12
SS	mg/L	7	0/12	7	0/12	9	0/12	8	0/12	3	0/12
大腸菌群数	MPN/100mL	7.4×10 ⁴	-/4	2.0×10 ⁴	-/4			5.0×10 ⁴	-/4	4.2×10 ⁴	-/12

水質 測定地点		11		12		13		14		15	
		第二寝屋川		長瀬川		平野川分水路		平野川		大川	
		下城見橋		第二寝屋川合流直前		天王田大橋		城見橋		桜宮橋	
類型		D		—		D		D		B	
項目	単位	年間測定値	m/n	年間測定値	m/n	年間測定値	m/n	年間測定値	m/n	年間測定値	m/n
pH	—	6.7~7.3	0/48	6.5~9.0	-/16	6.6~7.2	0/48	6.7~7.2	0/48	7.2~7.7	0/48
DO	mg/L	4.5	0/12	12	-/4	4.7	0/12	4.2	1/12	9.3	0/12
BOD	mg/L	5.0(7.0)	3/12	2.1(2.2)	-/4	4.3(5.4)	0/12	4.0(4.5)	0/12	0.8(0.9)	0/12
COD	mg/L	8.3	-/12	7.2	-/4	9.2	-/12	9.1	-/12	3.0	-/12
SS	mg/L	5	0/12	12	-/4	4	0/12	5	0/12	6	0/12
大腸菌群数	MPN/100mL	1.6×10 ⁴	-/4	8.1×10 ⁴	-/4	5.4×10 ³	-/4	7.3×10 ³	-/4	1.6×10 ³	1/12

水質 測定地点		16		17		18		環境基準値					
		堂島川		土佐堀川		東横堀川		項目	類型				
		天神橋		天神橋		本町橋			B	C	D		
類型		B		C		B							
項目	単位	年間測定値	m/n	年間測定値	m/n	年間測定値	m/n						
pH	—	6.9~8.1	0/48	7.0~7.7	0/48	7.0~7.6	0/48	pH	6.5 以上 8.5 以下	6.5 以上 8.5 以下	6.0 以上 8.5 以下		
DO	mg/L	8.6	0/12	8.1	0/12	6.4	3/12	DO	5 以上	5 以上	2 以上		
BOD	mg/L	1.3(1.5)	0/12	1.6(1.7)	0/12	1.3(1.6)	0/12	BOD	3 以下	5 以下	8 以下		
COD	mg/L	4.0	-/12	4.4	-/12	4.4	-/12	SS	25 以下	50 以下	100 以下		
SS	mg/L	7	0/12	6	0/12	6	0/12	大腸菌 群数	5,000 以下	—	—		
大腸菌群数	MPN/100mL	3.3×10 ³	2/12	4.9×10 ³	-/4	3.4×10 ³	1/12						

注1) BOD の () 内の値は75%値を示し、75%値を環境基準値と比較します。

注2) m/n の n は調査対象検体数、m は環境基準値を超えた検体数、- の場合は環境基準値が無いことを示します。

出典：平成25年度大阪府域河川等水質調査結果報告書（平成27年2月、大阪府）

調査区域の地下水の水質の状況は、概況を把握するための概況調査が6地点で行われており、平成25年度の測定結果を表4-1-8(1)に示します。すべての地点において環境基準を達成しています。また、概況調査等により新たに発見された汚染について、その汚染範囲を確認するとともに汚染原因の究明に資するために実施する地下水の水質汚染井戸周辺地区調査は4地点あり、測定結果を表4-1-8(2)に示します。

表4-1-8(1) 地下水水質測定結果（概況調査・平成25年度）

単位：mg/L

項目	環境基準値	1	2	3	4	5	6
		大東市	門真市	大阪市	大阪市	東大阪市	東大阪市
		諸福	桑才	東淀川区 豊里	城東区 中央	森河内西	西鴻池町
カドミウム	≦0.003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
全シアン	検出されないこと	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
鉛	≦0.01	<0.005	<0.005	<0.005	#0.006	<0.005	<0.005
六価クロム	≦0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
砒素	≦0.01	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
総水銀	≦0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀	検出されないこと	-	-	-	-	-	-
PCB	検出されないこと	-	-	N.D.	N.D.	-	-
ジクロロメタン	≦0.02	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
四塩化炭素	≦0.002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
塩化ビニルモノマー	≦0.002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	#0.0002	<0.0002	<0.0002
1,2-ジクロロエタン	≦0.004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン	≦0.1	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
1,2-ジクロロエチレン	≦0.04	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
1,1,1-トリクロロエタン	≦1	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
1,1,2-トリクロロエタン	≦0.006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン	≦0.03	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	≦0.01	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
1,3-ジクロロプロペン	≦0.002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
チオラム	≦0.006	-	-	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
シマジン	≦0.003	-	-	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	≦0.02	-	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
ベンゼン	≦0.01	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
セレン	≦0.01	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	≦10	#0.78	<0.08	#0.08	#0.08	#7.3	#0.08
ふっ素	≦0.8	#0.12	#0.52	#0.11	#0.13	#0.16	#0.14
ほう素	≦1	#0.05	#0.62	#0.02	#0.12	#0.05	#0.10
1,4-ジシロリン	≦0.05	<0.005	<0.005	<0.005	0.012	<0.005	<0.005

注1) 各地点とも測定回数は1回です。

注2) - : 未測定（アルキル水銀は、原則として総水銀が検出された場合、測定を行うこととしています。）
: 検出したが、環境基準値以下

注3) 環境基準値は平成25年度時点の値です。

出典：平成25年度大阪府域河川等水質調査結果報告書（平成27年2月、大阪府）

表 4-1-8(2) 地下水質汚染井戸周辺地区測定結果（平成 25 年度）

単位：mg/L

項目	環境 基準値	1	2	3	4
		大東市	門真市	大阪市	大阪市
		氷野	桑才	中央区 法円坂	城東区 新喜多
塩化ビニルモノマー	≦0.002	-	-	0.001	-
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	≦10	-	-	<0.08	-
ふっ素	≦0.8	<0.08	0.67	-	-
ほう素	≦1	-	0.62	-	-
1,4-ジメチルベンゼン	≦0.05	-	-	0.017	0.021

注1) 表中の測定結果は最高濃度を示します。

注2) -：未測定

出典：平成25年度大阪府域河川等水質調査結果報告書（平成27年2月、大阪府）

さらに継続監視調査は16地点で行われており、測定結果を表4-1-9(1)～(2)に示します。このうち11地点で環境基準を超過しています。

表4-1-9(1) 地下水水質測定結果（継続監視調査・平成25年度）

単位：mg/L

項目	環境基準値	1	2	3	4	5	6	7	8
		門真市	守口市	大東市	門真市	大阪市	大阪市	大阪市	豊中市
		柳田町	本町	諸福	堂山町	東淀川区 大桐	旭区 大宮	旭区 新森	豊南町 南
カドミウム	≦0.003	—	—	—	—	—	—	—	—
全シアン	検出されないこと	—	—	—	—	—	—	—	—
鉛	≦0.01	—	—	—	—	—	#0.008	—	—
六価クロム	≦0.05	—	—	—	—	—	—	—	—
砒素	≦0.01	0.040	—	—	—	—	—	—	—
総水銀	≦0.0005	—	—	—	—	—	—	—	—
アルキル水銀	検出されないこと	—	—	—	—	—	—	—	—
PCB	検出されないこと	—	—	—	—	—	—	—	—
ジクロロメタン	≦0.02	—	—	—	—	—	—	—	—
四塩化炭素	≦0.002	—	—	—	—	—	—	—	—
塩化ビニルモノマー	≦0.002	—	<0.0002	0.0061	0.029	—	—	0.009	—
1,2-ジクロロエタン	≦0.004	—	—	—	—	—	—	—	—
1,1-ジクロロエチレン	≦0.1	—	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	—
1,2-ジクロロエチレン	≦0.04	—	<0.004	#0.004	<0.004	—	—	0.064	—
1,1,1-トリクロロエタン	≦1	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	—	—	—
1,1,2-トリクロロエタン	≦0.006	—	—	—	—	—	—	—	—
トリクロロエチレン	≦0.03	—	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	—
テトラクロロエチレン	≦0.01	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	—	—	—
1,3-ジクロロプロペン	≦0.002	—	—	—	—	—	—	—	—
チウラム	≦0.006	—	—	—	—	—	—	—	—
シマジン	≦0.003	—	—	—	—	—	—	—	—
チオベンカルブ	≦0.02	—	—	—	—	—	—	—	—
ベンゼン	≦0.01	—	—	—	—	—	—	—	—
セレン	≦0.01	—	—	—	—	—	—	—	—
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	≦10	—	—	—	—	18	—	—	#8.7
ふっ素	≦0.8	#0.73	—	—	—	—	—	—	—
ほう素	≦1	—	—	—	—	—	—	—	—
1,4-ジオキサン	≦0.05	—	—	—	—	—	—	—	—

注1) 表中の測定結果は年間平均値を示します。

注2) 評価は年間平均値を環境基準値と比較します。

注3) —：未測定 ■：環境基準値を超過 #：検出したが、環境基準値以下

出典：平成25年度大阪府域河川等水質調査結果報告書（平成27年2月、大阪府）

表 4-1-9 (2) 地下水水質測定結果 (継続監視調査・平成 25 年度)

単位：mg/L

項目	環境基準値	9	10	11	12	13	14	15	16
		豊中市	大阪市	門真市	門真市	門真市	大阪市	守口市	守口市
		神州町	鶴見区 浜	東田町	東田町	東田町	都島区 中野町	大宮通	高瀬町
カドミウム	≦0.003	—	—	—	—	—	—	—	—
全シアン	検出されないこと	—	—	—	—	—	—	—	—
鉛	≦0.01	—	—	—	—	—	—	—	—
六価クロム	≦0.05	—	—	—	—	—	—	—	—
砒素	≦0.01	—	—	—	—	—	—	—	—
総水銀	≦0.0005	—	—	—	—	—	—	—	—
アルキル水銀	検出されないこと	—	—	—	—	—	—	—	—
PCB	検出されないこと	—	—	—	—	—	—	—	—
ジクロロメタン	≦0.02	—	<0.002	—	—	—	<0.002	—	—
四塩化炭素	≦0.002	—	<0.0002	—	—	—	<0.0002	—	—
塩化ビニルモノマー	≦0.002	—	0.082	—	—	—	0.0055	0.0042	—
1,2-ジクロロエタン	≦0.004	—	<0.0004	—	—	—	<0.0004	—	—
1,1-ジクロロエチレン	≦0.1	—	<0.002	—	—	—	<0.002	—	—
1,2-ジクロロエチレン	≦0.04	—	0.088	—	—	—	<0.004	—	—
1,1,1-トリクロロエタン	≦1	—	<0.0005	—	—	—	<0.0005	—	—
1,1,2-トリクロロエタン	≦0.006	—	<0.0006	—	—	—	<0.0006	—	—
トリクロロエチレン	≦0.03	—	<0.002	—	—	—	<0.002	—	—
テトラクロロエチレン	≦0.01	—	<0.0005	—	—	—	<0.0005	—	—
1,3-ジクロロプロペン	≦0.002	—	<0.0002	—	—	—	<0.0002	—	—
チウラム	≦0.006	—	—	—	—	—	—	—	—
シマジン	≦0.003	—	—	—	—	—	—	—	—
チオベンカルブ	≦0.02	—	—	—	—	—	—	—	—
ベンゼン	≦0.01	0.096	<0.001	—	—	—	<0.001	—	—
セレン	≦0.01	—	—	—	—	—	—	—	—
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	≦10	—	—	—	—	—	—	—	—
ふっ素	≦0.8	—	#0.42	#0.79	95	#0.30	—	—	1.2
ほう素	≦1	—	—	—	—	—	—	—	—
1,4-ジオキサン	≦0.05	—	—	—	—	—	—	—	—

注1) 表中の測定結果は年間平均値を示します。

注2) 全シアンは年間の最高値を環境基準値と比較します。それ以外の項目は年間平均値を環境基準値と比較します。

注3) —：未測定 ■：環境基準値を超過 #：検出したが、環境基準値以下

出典：平成25年度大阪府域河川等水質調査結果報告書（平成27年2月、大阪府）

平成21～25年度における河川及び地下水のダイオキシン類調査の測定結果は、表4-1-10(1)～(2)に示すとおりです。平成25年度の結果において、河川は20地点のうち2地点で環境基準を超過しています。また、地下水の1地点では環境基準を達成しています。

表4-1-10(1) 河川水質測定結果（ダイオキシン類）

常時監視調査

単位：pg-TEQ/L

水域	河川名	調査地点名	環境基準値	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
淀川	淀川	柴島	1以下	—	0.11	0.085	0.15	0.16
	淀川	淀川大堰	1以下	—	—	0.091	—	—
神崎川	神崎川	新三国橋	1以下	1.0	0.84	0.91	1.5	1.1
寝屋川	寝屋川	萱島橋	1以下	0.12	0.082	0.32	0.30	0.24
	寝屋川	住道大橋	1以下	0.44	0.64	1.8	1.2	0.73
	寝屋川	今津橋	1以下	1.0	1.9	1.9	0.63	0.71
	寝屋川	京橋	1以下	0.95	1.0	0.89	0.34	0.82
	恩智川	住道新橋	1以下	1.1	0.63	0.75	1.2	1.0
	古川	徳栄橋	1以下	2.1	2.5	3.4	1.6	2.4
	第二寝屋川	新金吾郎橋	1以下	0.11	0.12	0.21	0.055	0.25
	第二寝屋川	下城見橋	1以下	0.34	0.49	0.32	0.28	0.18
	平野川分水路	天王田大橋	1以下	0.17	0.22	0.15	0.20	0.20
	平野川	城見橋	1以下	0.57	0.80	0.55	0.40	0.47
大阪市内河川	大川	桜宮橋	1以下	0.21	0.23	0.26	0.49	0.46
	堂島川	天神橋(右)	1以下	0.64	0.56	0.78	0.61	0.82
	土佐堀川	天神橋(左)	1以下	0.60	0.62	0.64	0.63	0.40
	東横堀川	本町橋	1以下	0.51	0.80	0.88	0.52	0.61

常時監視調査以外

単位：pg-TEQ/L

水域	河川名	調査地点名	環境基準値	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
寝屋川	寝屋川	南水苑橋	1以下	0.61	0.051	0.026	0.028	0.035
	寝屋川	河北大橋	1以下	—	—	0.79	—	—
	寝屋川	五軒堀新橋	1以下	—	0.45	—	—	—
	寝屋川	鍋田川・側道橋	1以下	0.56	—	—	—	—
	鍋田川	谷川橋	1以下	—	—	—	0.13	—
	古川	三ツ島大橋	1以下	0.94	0.89	1.3	0.98	1.6
	下八箇荘水路	野口～千石西町	1以下	0.40	—	—	—	—
	下八箇荘水路	三ツ島	1以下	—	0.53	0.30	0.45	0.51
	門真第十水路	島頭	1以下	0.33	0.17	0.60	0.23	—

注1) 表中の測定結果は年間平均値を示し、年間平均値を環境基準値と比較します。

注2) ：環境基準を未達成、—：未測定

注3) 河北大橋、五軒堀新橋、鍋田川・側道橋は追跡調査結果

出典：大阪府環境白書 平成22～26年版（平成22～26年12月、大阪府）

表 4-1-10(2) 地下水水質測定結果（ダイオキシン類）

単位：pg-TEQ/L

調査主体	所在地	環境基準値	測定値	調査年度
大阪市	大阪市中央区法円坂	1 以下	0.090	H25
大阪市	大阪市福島区福島	1 以下	0.055	H24
東大阪市	東大阪市古箕輪	1 以下	0.053	H23
大阪府	門真市桑才	1 以下	0.059	H22
大阪市	大阪市東淀川区大桐	1 以下	0.067	
大阪市	大阪市旭区生江	1 以下	0.12	H21
	大阪市鶴見区浜	1 以下	0.088	

注) 表中の測定結果は年間平均値を示し、年間平均値を環境基準値と比較します。

出典：大阪府環境白書 平成22～26年版（平成22～26年12月、大阪府）

3) 水底の底質の状況

調査区域における水底の底質の水質測定は、平成 25 年度調査では 4 地点で実施されており、位置は前掲の図 4-1-6 に、測定結果は表 4-1-11 に示すとおりです。

測定結果は、底質の暫定除去基準(昭和 50 年、環水管第 119 号)を上回る水銀、PCB は検出されていません。

表 4-1-11 水底の底質測定結果 (平成 25 年度)

項目		暫定除去 基準値	①		②		⑤		⑧	
			淀川		神崎川		寝屋川		恩智川	
			西日本旅客鉄道 (株)赤川鉄橋		新三国橋		住道大橋		住道新橋	
含水率	%	—	16.1		57.2		23.0		38.3	
総水銀	mg/kg	25 以上	0.10	○	0.99	○	0.39	○	0.30	○
PCB	mg/kg	10 以上	<0.01	○	2.5	○	0.45	○	0.12	○

注) ○ : 暫定除去基準を達成 × : 暫定除去基準を未達成

出典 : 大阪府環境白書 平成26年版 (平成26年12月、大阪府)

平成 21～25 年度のダイオキシン類に係る測定は、25 地点で実施されており、測定結果は表 4-1-12 に示すとおりです。測定結果は、平成 22 年度に中茶屋橋（古川）で、平成 25 年度に三ツ島大橋（古川）で環境基準を超過しています。

表 4-1-12 水底の底質測定結果（ダイオキシン類）

常時監視調査 単位：pg-TEQ/g

水域	河川名	調査地点名	環境基準値	平成 25 年度	平成 24 年度	平成 23 年度	平成 22 年度	平成 21 年度
淀川	淀川	柴島	150 以下	—	0.29	0.26	1.1	14
	淀川	淀川大堰	150 以下	—	—	0.76	—	—
神崎川	神崎川	新三国橋	150 以下	60	44	66	85	120
寝屋川	寝屋川	萱島橋	150 以下	1.6	0.72	0.61	0.75	0.75
	寝屋川	住道大橋	150 以下	4.6	2.1	9.9	4.9	3.7
	寝屋川	今津橋	150 以下	9.6	16	9.1	10	9.3
	寝屋川	寝屋川橋	150 以下	1.2	0.67	0.94	1.0	1.1
	恩智川	住道新橋	150 以下	88	55	19	52	42
	古川	中茶屋橋	150 以下	140	84	82	180	27
	第二寝屋川	新金吾郎橋	150 以下	1.7	1.8	2.8	1.1	2.5
	第二寝屋川	下城見橋	150 以下	12	7.9	15	44	12
	平野川分水路	左専道大橋	150 以下	—	38	29	20	41
	平野川	城見橋	150 以下	61	62	82	91	66
大阪市 内河川	大川	桜宮橋	150 以下	15	28	50	28	16
	堂島川	天神橋(右)	150 以下	4.6	4.6	4.7	1.8	2.3
	土佐堀川	天神橋(左)	150 以下	2.0	3	1.5	3.8	8.8
	東横堀川	本町橋	150 以下	7.4	5.6	3.9	6.1	5.7

常時監視調査以外 単位：pg-TEQ/g

調査主体	河川名	調査地点名	環境基準値	平成 25 年度	平成 24 年度	平成 23 年度	平成 22 年度	平成 21 年度
寝屋川市	寝屋川	南水苑橋	150 以下	0.36	0.66	0.86	1.0	3.3
大東市	鍋田川	谷川橋	150 以下	—	—	—	2.8	—
門真市	古川	三ツ島大橋	150 以下	240	64	140	93	—
	下八箇荘水路	三ツ島	150 以下	—	35	19	9.0	31
	下八箇荘水路	野口～ 千石西町	150 以下	20	—	—	—	—
	門真第十水路	島頭	150 以下	54	10	15	96	—
	門真第十水路	横地	150 以下	—	—	—	—	22

注1) 表中の測定結果は年間平均値を示し、年間平均値を環境基準値と比較します。

注2) ：環境基準を未達成、—：未測定

注3) 平成22年度の大川:桜宮橋は源八橋で採取しています。

出典：大阪府環境白書 平成22～26年版（平成22～26年12月、大阪府）